

岡 歯 会 報

今月のHEADLINE

巻頭言 「かきがら」

県歯報告

東日本大震災 歯科医療従事者派遣報告

平成23年度 中国・四国地区 歯科医師連合会

役員連絡協議会

総務部 ギャラリー 特別展示のお知らせ



〈p24〉 〈p21〉 〈p10〉 〈p1〉

2011 8 vol.775

岡山県歯科医師会



1967年4月3日 第三種郵便物認可 2011年8月1日発行（毎月1回1日発行）通巻775号「岡歯会報」8月号

目 次

巻頭言 「かきから」……………岡山県歯科医師会 理事 黒木 祐二	1
文部科学大臣表彰	2
全国歯科医師国民健康保険組合表彰	2
県歯報告 宮城県被災地への歯科医療従事者派遣による医療救護活動報告並びに慰労会	3
タイヤのパンクは自己負担で…	9
東日本大震災 歯科医療従事者 派遣報告	10
Open the 理事会	12
県歯報告 平成23年度 中国・四国地区歯科医師会連合会 役員連絡協議会	21
総務部 会館運営 ギャラリー特別展示のお知らせ	24
マンスリー・デンタル・ニュース・レビュー (84)	25
社会保険部 第3回 社会保険部検討委員会報告	27
公衆衛生部 日本老年歯科医学会 第22回学術大会報告	28
地域保健関係職員研修会（歯科保健研修）の開催について	29
学術部 第11回日本スポーツ・健康づくり歯学協議会（JSHP協議会）、	30
第22回日本スポーツ歯科医学会総会・学術大会報告	
平成23年度岡山県歯科医師会生涯研修セミナーのお知らせ	31
医療管理部 医療管理ニュース 医療監視に備えよう！！「備えあれば、憂いなし」	32
厚生部 文化事業部会 平成23年度 レクリエーション大会（東日本大震災復興支援チャリティー大会）	33
支部モニター 津山支部	34
御津支部	36
新見支部	37
岡山県難聴者協会より矯正展（バザー）物品提供協力依頼	38
リレー随筆 「相 棒」 伏屋 昇（岡山支部）	39
学院だより 「歯の衛生週間」ボランティア参加報告	40
52期生（平成24年3月卒業予定者）の求人申込みのお願い	41
平成23年度 御野小学校 衛生教育実習報告	42
御野幼稚園における衛生教育実習報告	43
新人会員紹介 新人です よろしくお願ひします。	44
お知らせ 日曜・祝日の開館予定日（8月・9月）	45
津山市子ども医療費公費負担制度拡大にかかるお知らせ	46
平成23年度 日本補綴歯科学会 中国・四国支部学術大会のお知らせ	48
第39回産業医学講習会実施要領・日程	49
会員異動	51
8月の収納金	51
6月 会の動き	51
8月・9月 本会の予定	53
8月・9月 支部の予定	53
こちら編集室	54

<http://www.oda8020.or.jp>

■題 字 岡山支部 三浦 晰 先生

■表紙作品 「飛 蝶」
倉敷支部 田辺 省二 先生



「かきがら」

岡山県歯科医師会

理事 黒木 祐二(新任)

3月11日に起きた東日本大地震からもう4ヶ月経とうとしている。6月末で亡くなられた方15,500人、行方不明者7,300人、自宅を無くし転居された方、未だに避難所で生活されている方が11万人を超しているという。また、土壌や海水などへの放射能汚染に対する国民の不安が広がり、まさしく戦後最大の「国難」と言わざるを得ないであろう。

戦後、日本の経済とともに科学技術は著しい発展を遂げてきた。そして、この科学技術を基にした原発の安全性や日本の防災対策は信頼できるものと考えていた。しかし、今回この「想定外」の地震や津波によって、自然の脅威を再認識したと同時に、それに対しての「科学技術」の信頼性に疑問を持たざるを得なくなってしまった。一方で、今回の津波が本当に「想定外」であったのかという疑問も残ってしまう。今回、津波の被害にあった地域では、かつて同様の津波が起こったことを示す伝承や石碑等が残っている所もあり、その教えを守っていたことで被害が少なかった場所もあったということだ。もし、計り知れない自然の力に対応できない科学技術であるならば、それを真摯に受け止め、できうる限りの対策を講じておくべきであったのではないだろうか。

司馬遼太郎は「坂の上の雲」の中で、日露戦争日本海海戦の参謀秋山真之の話を書いている。

「たとえば軍艦というものは一度遠洋航海に出て帰ってくると、船底にかきがらが一杯くっついて、船足がぐんと落ちる。人間も同じで、経験は必要じゃが、経験によって増える知識と同じ分量だけかきがらが頭に付く。知恵だけとってかきがらを捨てるということは人間にとって大切なことじゃが、老人になればなるほどこれができぬ」

戦後、著しい進歩をとげた「日本丸」。いつの間にか船底に色々な「かきがら」が一杯くっついてしまったのではないだろうか。

震災後4ヶ月を経ようとしているが、いまだに被災地の復旧、原発事故の収束の見通しは漠然としている状態である。是非、早急に船底の「かきがら」をきれいに捨て去り、この「国難」を乗り越えて「復旧」に向かって、全速力で進んでいってもらいたいと思う。そして、一刻も早く「復興」という希望の雲が東北の地にたなびくことを祈っている。

文部科学大臣表彰

津山支部 石原美章先生

倉敷支部 太田隆温先生

去る6月22日、東京都で開催の学校歯科医制度80周年・社団法人日本学校歯科医会設立40周年記念式典の席上で、長年に亘り学校歯科医として学校保健事業の推進に貢献されたご功績に対し、表彰されました。

衷心よりお慶び申し上げますとともに先生の今後益々のご活躍とご健勝をお祈り致します。

全国歯科医師国民健康保険組合表彰

津山支部 渡部佳郎先生

去る7月27日、東京都で開催の全国歯科医師国民健康保険組合第69回通常組合会の席上で、長年に亘り支部役員と組合会議員として組合に貢献されたご功績に対し、表彰されました。

衷心よりお慶び申し上げますとともに先生の今後益々のご活躍とご健勝をお祈り致します。

宮城県被災地への 歯科医療従事者派遣による医療救護活動報告並びに慰労会

平成23年7月4日午後8時より、宮城県被災地への歯科医療従事者派遣による医療救護活動の報告会並びに慰労会が開催されました。

1. 酒井会長挨拶

本日は足元の悪い中、ご参集いただきましてありがとうございます。

とりわけ歯科衛生士の武田先生、福田先生にはいろいろお世話になり、お二人がおられたからこそ、この事業が機能したのだと思っております。改めて感謝申し上げます。

帰岡されて1週間経過し、先生方におかれましては当初とは違った思いというか、感慨をお持ちだと思います。会長として先生方の熱い思いと行動力に敬意を表したいと思います。4名の会員の先生方は、岡山県歯科医師会の100年を超える長い歴史の中でしっかりとした立派な足跡を残されたと、そしてこのことを後輩や後世に伝えていきたいと思っております。

それぞれの先生方がそれぞれの人生観をお持ちだと思いますが、今回の経験はその人生観にも少なからず影響があったのではないかと考えます。また、皆様方の人生においてもいろいろな意味で大きな足跡ではなかったかと推測致します。この貴重な経験を歯科医師会や地域医療において、それぞれの立場で生かしていただけたらと期待しております。本当に御苦労さまでした。

2. 花束及び記念品贈呈

3. 災害派遣歯科医療救護班 岡山県歯科医師会チーム報告



—宮城県被災地への歯科医療従事者派遣による医療救護活動報告について—

東日本大震災で亡くなられた方のご冥福をお祈り致しますと共に被災された方々へ改めまして謹んでお見舞い申し上げます。

さて、この度の大震災への対応による宮城県被災地での岡山県歯科医師会チームの歯科医療救護活動に際しまして、関係各位の皆様方に物心両面で多大なご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

お陰様で大過なく無事に出務を終了することができ、チーム員一同安堵しております。

ここに、心より感謝申し上げますと共に、標記活動の概要について資料を添えてご報告申し上げます。

1. 日程および陣容

集合日時：平成23年 6 月12日(日) 19:00

集合場所：宮城県歯科医師会館

派遣期間：平成23年 6 月12日(日)から19日(日)

＊実働 6 月13日(月)から18日(土)の 6 日間

活動場所：主に宮城県石巻・女川、気仙沼地区の避難所および老健施設等

派遣人数：8 名（歯科医師 4 名：岡山県歯科医師会災害派遣医療従事者登録会員、

歯科衛生士 4 名：日本歯科衛生士会災害派遣医療従事者登録会員）

出務者名：渡里浩明、井上昌次郎、小林昌洋、居樹秀明

（以上岡山県歯科医師会会員）

福田弘美（吉備国際大学准教授）、武田明美（岡山県歯科衛生士会会長）

佐塚真理子（静岡県歯科衛生士会会長）、能島初美（石川県歯科衛生士会会長）

2. 医療救護班支援チーム編成

石巻・女川地区および気仙沼地区の 2 チーム

石巻・女川地区チーム：渡里浩明（団長、班長）、小林昌洋、佐塚真理子、能島初美

現地協力者：佐藤 藍（宮城県歯科医師会非常勤歯科衛生士）

木村 豊（キング工業社員）

気仙沼地区チーム：井上昌次郎（班長）、居樹秀明、福田弘美、武田明美

現地協力者：阿部純子（気仙沼市保健福祉部健康推進課歯科衛生士）

3. 支援団体：厚生労働省、日本歯科医師会、日本歯科衛生士会、宮城県歯科医師会、

岡山県歯科医師会、（株）キング工業

4. 活動の概要

- 1) 目的：宮城県の避難所等における歯科治療や口腔ケア等の医療救護活動
- 2) 体制：1チーム4名（歯科医師2名，歯科衛生士2名）による2チーム体制。
石巻・女川地区と気仙沼地区に分かれ，各々レンタカーで移動しながら診療
- 3) 行程および活動概略（別添資料：厚生労働省と日本歯科医師会へ提出済み報告書抜粋）

6月12日(日) 19:00

チーム員8名各人が空路，新幹線を利用して宮城県歯科医師会館に集合，初対面だが，志は一緒に早速に意気投合。打合会出席後，宮歯会の指示で2チーム編成となる。

13日(月)

宮歯，岡歯の救援物資を移動車プリウスに積み込み，6:30気仙沼チーム，7:30石巻チーム，それぞれ気仙沼地区，石巻地区をめざして仙台ホテルを出発。手探りの状態ではあったが，無事初日の活動を終えそれぞれ，20:00と18:00に石巻ホテルに帰還。気仙沼チームは往復200キロ近くの移動距離が辛い。岡歯の追加支援物資を仕分けし更に車に積み込む。遅い夕食を兼ねたミーティングを行った。

14日(火)，15日(水)

早朝よりそれぞれのチームは石巻，女川，気仙沼の避難所や施設等に出向き，歯科診療と口腔ケア等を行う。気仙沼チーム移動車がパンク。タイヤ交換と修理の依頼。

石巻チームは避難所において歯科バス診療車とポータブルエンジンでの治療主体と巡回口腔ケア指導。気仙沼チームは施設に於いてポータブルユニットのみで義歯調整と口腔ケア指導主体。

活動形態と移動時間の差異を勘案し16日，17日は活動地区を交替する案を全員一致で了承。

16日(木)，17日(金)

それぞれのチームが活動地区を交替したが救護活動に慣れてきたため順調に経過した。

移動中，女川と南三陸町に立ち寄り，大津波後の一面瓦礫だらけの筆舌に尽くしがたい惨状を目の当たりにし，言葉を失い，皆絶句。涙を禁じ得なかった。

18日(土)

両チーム共午前中で診療を終え，現地の歯科衛生士さんにお礼と次チームへの引き継ぎをお願いし，一路仙台の宮歯会館へ帰還。報告会后，全出務を無事終了し解散した。

19日(日)

8名のチーム員はそれぞれ慰労ならびに別れの言葉と想いを交わし，帰路に就いた。

「医療救護活動を終えるにあたって」(団長、石巻チーム班長 渡里浩明)



歯科診療での被災者との交流を通じて、心が折れそうになるのをじっと我慢して、ひたむきに以前の自分を取り戻そうと毅然とした被災者の姿に唯々頭が下がる思いです。被災者の目線で考え、真摯な気持ちで被災者の方の心に寄り添うことの重みを痛感しました。

近隣歯科医院の診療再開により、活動が応急処置と口腔ケア関連にシフトしているものの、個々の避難所で温度差があり、継続的な救護活動を行うのであれば、まず、それぞれの被災者の話に耳を傾け彼らの事情とニーズを把握し、よりきめ細かな対応が必要ではないかと感じました。

また、移動歯科診療車の整備が、診療効率と質の向上および安心・安全の確保のためにも急務であると思いました。

一方、老健施設等では医療・介護従事者も多くが被災されており、紹介も往診も期待できない孤立した患者が多いのに驚きました。ポータブルユニットでの歯石除去・口腔内洗浄と併せて施設職員への全介助口腔刷掃法の指導が重要であると認識しました。

今後の救護活動の参考になれば幸甚に存じます。

「災害派遣を終えて」(気仙沼チーム班長 井上昌次郎)



百聞は一見にしかずの言葉どおり想像を絶する被災地を目の当たりにして言葉を失いました。一週間という短い間でしたが一種異様な精神状態の中、渡里団長以下全員でできる限りのことはやれたと思っております。避難所にいる人たちだけではなく、コーディネートして頂いた衛生士さんをはじめすべての方が被災者でしたが、多くの被災者の方が驚くほど前向きな考えを持っておられることに大変感銘を受けました。これから私に出来ることは何かと考えたとき、被災地で見たり聞いたり経験したことを多く

の人に伝える事かと思います。

最後にきめ細やかな後方支援を頂いた全ての方に感謝致します。

「救護活動を終えて」(石巻チーム員 小林昌洋)

心身とも、すぐに落ち着きを取り戻すことは難しいようです。今、なかなか至らなかったと感じております。

被災地に足を運び体感すること、そこでは皆が被災者であること、そして、患者さんを知ること。その中で生じてくる思い。情報の伝達とともに、そんな思いも将来へつながっていくことを願っております。



「歯科医療救護班に参加して」(気仙沼チーム員 居樹 秀明)



東日本大震災の報道をテレビ、新聞などで見て、そして多くの被災した地元の歯科医師が身元確認や歯科治療で奔走されているという話を聞いて、自分も何かできないかとずっと思っていました。

実際に被災地に行ってみると想像を絶する惨状でした。そして歯科診療させていただいた避難所の皆さんのみならずコーディネートしてくれた地元の歯科衛生士さん、訪問させていただいた施設のスタッフ、宿泊したホテルのスタッフの方々等々、現在元気で働いている方々もみなさん今回の震災でそれぞれに心に傷を抱えている方ばかりでした。震災から3か月たち、生活はやや落ち着きを取り戻しながらも先が見えない不安を感じている方が多く、歯科治療のみならずお話を聞いてあげてことを心がけ行動をいたしました。被災者の方々からも地元に戻って状況を伝えてくださいとお願いされ、真にそれが使命だと感じております。このたびは日本歯科医師会歯科医療救護班に参加させていただき本当にありがとうございました。又、最後になりましたが、亡くなられた皆様様に謹んで哀悼の意を表します。

「医療救護 歯科衛生士の立場として 申し送り事項」(気仙沼チーム員歯科衛生士 福田弘美)

1. 口腔ケア用品は各避難所とも充足している。
2. 口腔ケア用品の各目的と使用方法についての再指導が必要と思われる。
3. 高齢者の中には津波で新義歯を紛失された方々も多い、旧義歯もしくは義歯なしの方も多数見受けられた。そのため、適合状態が悪い方が多い。
4. 義歯清掃が不十分であるのは避難所では義歯洗浄には抵抗のある方もおられる。

(義歯を外しての清掃への恥ずかしさ) 環境と心理をよく理解して口腔ケアに望む必要がある。

5. 小学生などの児童へのサポートは、巡回時間が日中ということもあり全くといっていいほど行えなかった。気になるところである。
6. 気仙沼総合体育館では今回の活動について十分に伝達できていないと感じた。

まだまだニーズがあるところであると考え。半日ではなく1日をかけて巡回してほしい。

7. 避難所である小・中学校によっては高台にあるために、診療開始されている歯科医院への交通手段がないとの訴えが多数みられた。これからは、送迎ボランティアといったサポートも検討していただきたい。

以上です。充分ではありませんが、よろしくお願いいたします。





「医療救護活動を終えて」(気仙沼チーム員歯科衛生士 武田明美)

時間の経過と共に医療救護活動者に求められる内容に変化があることを実感し、歯科が携わる時期と内容の検討を今後の対応としてまとめる必要があると感じました。

災害時の口腔ケアについては、様々な報告があります。しかし、広範囲にわたる被災地の状況、ライフラインの復旧状況を目の当たりにすると、現実はずっと「生きる」ことにつながる「歯科」内容を提供しなければならないと思いました。

岡山県のチームの一員として参加できましたことに感謝いたします。

「救護活動の感想」(石巻チーム員歯科衛生士 佐塚真理子・能島初美)

1. 避難生活が3ヶ月となり、少しずつ生活のリズムが整い落ち着いているように見えますが、当時を思い出し、話の途中で涙される方がおられます。明るいからとはいえ、被災された方々の気持ち（ご家族や知人を亡くされたり、ご本人も九死に一生を得たり、また今後の生活を考えると・・・）や、言葉がけには配慮が必要かと思われます。いきなり口の中のことでなく、まず相手のお話に耳を傾けることが大切と思われます。
2. 口腔ケア用品はかなり余っていました。震災直後は歯ブラシなど配布することが必要ですが、現在は十分持っておられました。ただし、私たちが訪れたのは避難所（行政の指定場所）だったので、個人で避難された方々、あるいは少人数の避難場所に関する情報に関しては分かりません。これまで（震災前）の口腔に関するセルフケア、震災後のケア（3ヶ月後）に違いがあるのか、短い時間の問診だったので何ともいえませんが、歯ブラシ等の配布だけでなく、ケア（セルフ）方法についての指導が重要と思われます。
3. 日中は仕事に行かれる方、仕事を探しに行かれる方、子供たちも学校へ行っているため避難所には人が少なかった。特に集団生活を行う子供たちへの口腔清掃習慣がどのように行われているのか・・・集団歯科保健活動の方法を考える必要があります。
4. 1週間という短い日数を有効に活動するためには、情報交換が大切です。しかも状況が少しずつ変わって行く中で、歯科衛生士には前回どのような状況であったか、どのような活動を行ったかを知らされないまま現地入りしました。直接会っての情報交換は出来なくとも、何らかの形で引き継ぎが出来ればと思います。
5. 各チームとも、地元の歯科衛生士の協力のお陰で活動を行うことが出来ました。このことで現場の情報（地理的なことは当然ながら、現状の把握）を得る事が出来、本当に助かりました。

タイヤのパンクは自己負担で…

“医療従事者”“医療救護班”“医療支援チーム”このように様々な呼称が伝わってきましたが、個人的には役割が最も明確に伝わってくる“歯科医療支援チーム”の名称を好んで使っています。

宮城県下の被災地に6月12日～18日の派遣が決まった直後に、宮城県歯の担当者に連絡を取って状況を教えてもらいました。「派遣先はおそらく南三陸地区になるでしょう。この地区は6歯科医院すべてが流失し、仮設診療所でやっと診療を始めたばかりですが、義歯をなくしたりした方も多いようです。診療用物資のストックは県歯にもありますが、歯ブラシなど不足してきているものもありますので、ご持参いただければ嬉しく思います」とのことでした。また、同地区に身元確認に行った谷先生から地元の実任者の先生をご紹介いただきましたので、直接お話を伺うこともできました。「この地域はデンタルIQも決して高いとは言えず、むし歯や歯周病を放置している人も多いので、今回の震災で益々の悪化が懸念されます。できることなら歯科治療は自己完結型にさせていただき、口腔ケアに主眼を置いてやっていただければ有り難い限りです」ご自身も被災者ですが、地域住民の健康を思いやるお気持ちが私にも伝わってきました。

しかしその後、どうも石巻・気仙沼地区への派遣になりそうだという情報が入ってきました。特に気仙沼地区は再開した歯科医院もあり、医療支援チームの派遣は終了したという情報もありましたので、思わず絶句してしまいました。各被災地の真の姿については、日歯は無論のこと、宮城県歯でさえも把握できていないのが現状であり、この程度の混乱は致し方ないものと思い、気を取り直して両地区の被災状況や医療支援の現状などの情報収集をし、必要な医療物資の調達にあたりました。

今、手元に宮城県歯作成の「医療救護班行動予定」という資料があります。これには様々な注意事項や示唆が書かれています。例えば

- ・原則として、災害救助法に基づいた医療行為を行う。すなわち、口腔ケア、緊急処置、応急処置を行うこととし、当日に完了する歯科治療に限定していただきたい。また再建中の近隣の歯科医院への配慮をお願いします。
- ・毎日、宮城県に「歯科医療救護活動報告書」を作成提出し、全日程終了後には厚労省に「歯科医療従事者活動報告」を提出のこと。
- ・道路上には釘などの鋭利な物も散乱しており、タイヤがパンクする事例も多発しているようです。その際の修理費は自己負担となります。
- ・深い悲しみを湛えている被災者も多く、まずはお話を聞くことから始めてください。

等々です。

こうは書いてあっても、瓦礫の撤去も進んでおりパンクなどないであろうと高を括っていましたが、釘を拾ってしまったようです。被災地の現状を思い知らされました。また、今回の派遣はボランティアと言いながらも、行政への報告書の提出を求められるなど規格外の一面もありました。

渡里団長の強力なリーダーシップのもと、被災者に寄り添った診療や口腔ケアを実践され、岡山県チームへの感謝の言葉も多く寄せられたようです。8名の皆様の献身的なご尽力に、衷心よりお礼申し上げます。
(理事 横見由貴夫)



G10チーム（岡山県歯）と松本歯大チーム



宮城県歯での打合せ



宮城県歯会館のホールにて



気仙沼中学校で診療中



気仙沼グループホーム「リアスの杜」で診療中



気仙沼 障害者施設「只越荘」スタッフと



石巻 湊小学校にあった被災者が書いたと思われる落書き



石巻 キング工業の移動診療車



女川町立病院より街を見下ろす



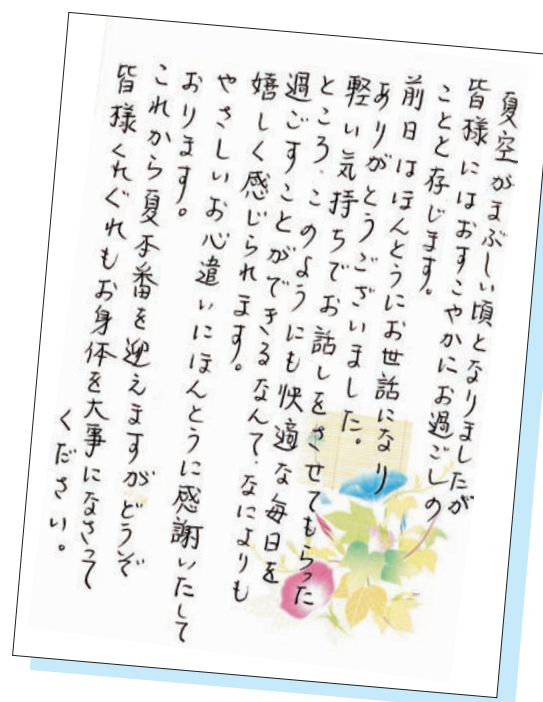
G10のアイドル佐藤 藍 衛生士 彼女も被災者だ



気仙沼総合体育館「ケー・ウェーブ」で診療中



岡山空港到着 会長らの出迎えに一同涙



被災地の方からのお礼状

Open the 理事会

羅針盤

会 長 酒井 昭則



「節電」一色のこの夏であるが、他方埋蔵電力で十分に賄えると言う報道もあり、国民は何を信じて良いのか、政権の混迷ぶりを象徴しているように思える。

一点だけ感じることは、この国では無尽蔵に何でも世の中に溢れている「飽食の時代」と言われた時期があり、物には限りがあるといった意識が国民に無かった。しかし、今回の原発事故により国民の意識の中に「あらゆるものが無尽蔵では無い」という事が根付いたのではないかとと思われる。「禍を転じて福となす」と言われますが、この事が唯一の救いであると思っています。この意識の共有が、この国の新たな社会構造を生み出し、再興に繋がるものと信じています。

平成23年度 第9回
平成23年 6月9日(木)
18:30~20:53

1. 会長挨拶

2週間ぶりの理事会になります。先日、身元確認派遣の報告会を行い、各々5~10分で6名の派遣歯科医師から報告を頂きました。報告の中で6名の先生方に共通されているのは、歯科医師という職業への誇りとその根底に人に対する優しさを持たれている事だと感じました。早い時期に報告会を企画しなければならないと思っています。

2. 報 告

〔各部委員会〕

- (1) 公衆衛生部小委員会 5月27日(金)
- (2) 学術部 図書打合せ 5月31日(火)
- (3) 厚生部文化事業部会小委員会 5月31日(火)
- (4) 広報部編集委員会 6月1日(水)
- (5) 広報部移動委員会 6月2日(木)
- (6) 社保 審査・検討小委員会 6月4日(土)
- (7) 社保 検討委員会 6月4日(土)
- (8) 学術部 正・副委員長会 6月7日(火)
- (9) 社保小委員会 6月8日(水)

〔本会関連の研修会・会議等〕

- (1) 常務理事会 5月26日(木)
- (2) 社会保険部正・副委員長会 5月30日(月)
- (3) 朝日新聞取材 5月31日(火)
- (4) 山陽新聞社へ義援金目録持参 5月31日(火)
- (5) 日学歯 第1回学術委員会 6月1日(水)
- (6) 歯科医療従事者派遣打合せ 6月1日(水)
- (7) 第168回日歯臨時代議員会 6月2日(木)
- (8) 被災地に向けて元気を送る会 6月2日(木)
- (9) 身元確認派遣歯科医師報告会 6月3日(金)
- (10) 歯の衛生週間啓発事業・募金活動
6月5日(日)

- (11) 第35回「歯の健康フェア」開会式
6月5日(日)
10文字程度
締切 6月15日(水)
- (12) 第35回「歯の健康フェア」懇親会
6月5日(日)
(2) 平成23年度岡山中央暴力追放推進協議会総会の開催と出席依頼について
事務局対応
- (13) 医療従事者派遣歯科医師打合せ
6月6日(月), 8日(水)
日時 6月17日(金) 13:30~15:00
- (14) 日学歯制度改革委員会 6月8日(水)
場所 岡山中央警察署
- (15) 平成23年度歯科医療安全管理体制推進特別事業打合せ 6月8日(水)
(3) 財団法人岡山県体育協会委員会委員への推薦依頼について
塚本理事
- (16) 岡山県歯科保健計画策定作業部会
6月9日(木)
任期 2年(但し, 新公益法人設立日まで)
締切 6月17日(金)
- (17) 岡山県教育庁と面会 6月9日(木)
(4) 日本学校歯科医会より学校歯科医制度80周年・日本学校歯科医会設立40周年記念式典の挙行と臨席依頼について
酒井会長
- 【その他】
(1) 会館電気点検(停電) 5月29日(日)
- 【学院報告】
(1) 学院見学会 6月4日(土)
日時 6月22日(水) 10:30
(2) 衛生教育実習(御野幼稚園) 6月8日(水)
場所 アルカディア市ヶ谷私学会館
- 【国保報告】
(1) 監事会 6月7日(火)
(5) 特定非営利活動法人NPO救命おかやま2011記念講演会及び懇親会の開催と参加依頼について
学術部対応
- ・平成22年度決算 ・義援金50万円を本部へ
日時 6月24日(金)
19:00(記念講演会)
20:15(懇親会)
- 【事務局報告】
(1) 岡山県国民健康保険団体連合会常務理事交代
挨拶 嶋村 稔⇒久山正人
場所 岡山プラザホテル
- (2) 岡山県国民健康保険団体連合会と面会
6月2日(木)
(6) 岡山県要保護児童対策地域協議会の開催と出席依頼について
平岩常務理事
3. 行事予定
本会行事 50件
学院行事 6件
国保組合行事 3件
4. 協議
【各種依頼事項】
(1) 日本歯科医師会より日歯広報「歯の衛生週間活動報告」原稿の執筆依頼について
広報部対応
依頼 本文800字程度, 写真1枚, 見出し
日時 6月29日(水) 9:30~11:00
場所 三光荘
- (7) 岡山県暴力団排除条例制定県民総決起大会の開催と参加依頼について
事務局対応
日時 6月30日(木) 13:30~16:20

場 所 コンベックス岡山

- (8) 平成23年6月保険医療関係機関連絡会議の開催と出席者及び協議題の提出依頼について

西岡理事

日 時 6月30日(木) 14:00

場 所 岡山県薬剤師会

- (9) 平成23年度岡山県学校保健会第2回理事会ならびに表彰審査会の開催と出席依頼について

黒住副会長, 平岩常務, 恵谷委員長

日 時 6月30日(木) 14:00~15:30

場 所 丸の内会館

案 内 黒住副会長, 平岩常務, 恵谷委員長

- (10) 岡山県医療審議会(医療法人部会)の開催と出席依頼について

酒井会長

日 時 7月4日(月) 13:30~14:30

場 所 岡山衛生会館

- (11) 平成23年度岡山県介護保険関連団体協議会総会の開催と出席依頼について

横見理事

日 時 7月5日(火) 13:30~15:30

場 所 ビュアリティまきび 3階「飛翔」

- (12) 平成23年度第1回岡山県へき地医療支援会議の開催と出席依頼について

藤井副会長

日 時 7月7日(木) 14:00~16:00

場 所 岡山済生会総合病院

- (13) 岡山県国民健康保険団体連合会より理事会の開催と出席依頼について

藤井副会長

日 時 7月14日(木) 14:00

場 所 岡山県国保会館

- (14) 医療法人万成病院創立57周年・社会福祉法人松風会創立15周年記念行事小林孫兵衛記念医学振興財団第19回研究助成金授与式の開催と

出席依頼について

祝 電

日 時 7月16日(土) 16:30

受付は16:00

場 所 岡山国際ホテル 瑞光の間

- (15) 平成23年度公正採用選考人権啓発推進員研修会の開催と出席依頼について

事務局対応

日 時 7月19日(火) 13:30~16:00

(受付は13:00~)

場 所 岡山コンベンションセンター

- (16) 倉敷歯科医師会より救急蘇生講習会の開催と講師派遣依頼について

学術部対応

日 時 7月21日(木) 14:30

場 所 倉敷歯科医師会館

- (17) 健康おかやま21推進会議委員の推薦依頼について

黒住副会長

任 期 2年

現任者 黒住副会長

- (18) 岡山県地域・職域保健連携推進協議会委員の推薦依頼について

酒井会長

任 期 2年

現任者 酒井会長

- (19) 日本歯科医師会雑誌平成23年9月号『都道府県学術メッセージ』欄の執筆依頼について

学術部対応

締 切 7月29日(金)

字 数 700字~800字

- (20) 天満屋岡山店より夏休み水族館「アザラシと海のいきものたち」開催に伴う会員診療所へのチラシ配布依頼について

詳細確認の上, 対応

期 間 8月3日(水)～24日(水)
 場 所 天満屋岡山店 6階いせん会館
 依 頼 1 医療機関あたり
 10枚のチラシ (招待券2枚)

〔検討事項〕

- (1) 岡山県学校保健会より平成23年度東北地方太平洋沖地震にかかわる災害義援金の募集について

主 催 日本学校保健会
 締 切 7月8日(金)

- (2) 近畿・中国・四国口腔衛生学会平成23年度幹事の推薦依頼並びに総会開催案内について

平岩常務理事

日 時 10月2日(日) 9:30

場 所 長井記念ホール

(徳島大学蔵本キャンパス内)

現任者 平岩常務理事

- (3) 平成23年度社会保険指導者研修会の開催予告について

社保対応

日 時 9月26日(月) 11:00

場 所 日本教育会館

- (4) 本会入会申込みについて

すべて承認

正会員 ^{なぎた りつこ} 名木田 律子 (倉敷支部)

準会員⇒正会員

正会員 ^{ほんだ こうぞう} 本多 浩三 (真庭支部)

【7月1日入会】

5. 閉 会 (南理事)

今日の視点 (平岩 弘)

6月12日(日)～19日(日)岡山県歯より、4名の会員と2名の歯科衛生士がボランティアで、震災被災地に歯科医療従事者として派遣されることとなった。現地の状況も日々刻々と変化しており、現地与連絡を取りながら6名の有志がその職責を十分

に果たせるよう本会としても最大限のバックアップ体制で準備を進めている。

平成23年度 第10回

平成23年 6月16日(木)

18:30～20:29

1. 会長挨拶

日曜日、宮城県に派遣の4先生の見送りに行ってきました。準備物(平岩常務、横見理事対応)に感謝していました。1日に30名位を診ているという現況報告がありました。

2. 報 告

〔各部委員会〕

- (1) 広報部編集委員会 6月9日(木)
 (2) 広報・会館合同委員会 6月13日(月)
 (3) 医療管理部 正・副委員長会 6月15日(水)
 (4) 社保小委員会 6月15日(水)

〔本会関連の研修会・会議等〕

- (1) 三井住友・モスト岡山との懇談会
 6月10日(金)
 (2) 日本歯科医療管理学会中国支部第1回役員会
 6月11日(土)
 (3) 岡山県歯科衛生士会第11回理事会
 6月11日(土)
 (4) 歯科医療従事者派遣 6月12日(日)～19日(日)
 (5) 支払基金幹事会 6月13日(月)
 (6) 日学歯 常務理事会 6月15日(水)
 (7) 日本老年歯科医学会 6月16日(木)～17日(金)

〔その他〕

- (1) 検死 5月25日(水)

〔学院報告〕

- (1) 衛生教育実習（御野小学校） 6月16日(木)

〔事務局報告〕

- (1) 6/15協会けんぽが来会し、7月よりの被災者の保険証提示について

3. 行事予定

本会行事 62件

学院行事 5件

国保組合行事 3件

4. 協 議

〔各種依頼事項〕

- (1) 日本学校歯科医会第79回総会の開催と出席依頼について

酒井会長、藤井副会長 出席

日 時 6月22日(水) 13:30

場 所 日本歯科医師会館

案 内 酒井会長、藤井副会長

- (2) 岡山県介護保険関連団体協議会より平成23年度会員組織における介護に係る研修計画状況調査への協力依頼について

横見理事 対応

締 切 6月24日(金)

- (3) 平成23年度子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業に係る委員の委嘱及び第1回学校保健推進協議会の開催と出席依頼について

平岩常務理事 出席

日 時 7月8日(金) 14:00～15:30

場 所 丸の内会館

委 嘱 平岩常務理事

- (4) 岡山県看護協会より平成23年度第1回訪問看護推進協議会の開催と出席依頼について

横見理事 出席

日 時 7月15日(金) 13:00～15:00

場 所 岡山県看護会館

委 員 横見理事

- (5) 日本学校歯科医会より第33回学校歯科保健研修会（中国四国ブロック）の開催と参加者推薦依頼について

指定校校医の内藤雅文先生と公衆より1名参加

日 時 7月28日(木) 9:50

場 所 山口県歯科医師会館

推 薦 2名

- (6) 日本補綴歯科学会中国・四国支部平成23年度学術大会懇親会の開催と出席依頼について

酒井会長 出席

日 時 9月3日(土) 18:30

場 所 岡山全日空ホテル

- (7) 岡山県保健福祉部長より「薬と健康の週間」の実施に伴う後援依頼について

承 認

期 間 10月17日(月)～23日(日)

- (8) 岡山県禁煙問題協議会より平成23年度賛助会費納入依頼について

承 認

- (9) 岡山県介護保険関連団体協議会より「介護保険事業所等の運営基準に係る条例制定等に伴う地域の実情や県民・関係団体等の意見の把握について」の協力依頼について

公衆対応

締 切 7月中旬

- (10) 天満屋岡山店より夏休み水族館「アザラシと海のいきものたち」開催に伴う会員診療所へのチラシ配布依頼について

期 間 8月3日(水)～24日(水)

場 所 天満屋岡山店6階いせん会館

依 頼 1医療機関あたり

10枚のチラシ（招待券2枚）

備 考 送料・発送作業は天満屋負担
住所ラベルの提供

〔検討事項〕

- (1) 第56回中国地区学校保健研究協議大会の開催
と参加案内について

県外開催分は欠席

日 時 8月18日(木)・19日(金)

場 所 とりぎん文化会館

- (2) 第75回全国学校歯科保健研究大会ポスター発
表の募集について

予定なし

期 日 10月20日(木)～21日(金)

場 所 愛媛県県民文化会館

締 切 6月末日

- (3) 第10回警察歯科医会全国大会の開催予告並び
にポスターセッションへの参加案内について

警察歯科医会で検討

日 時 11月4日(金) 13:00～18:00

※ポスターセッションは10:00

場 所 盛岡グランドホテル

締 切 6月末日

- (4) 本会会館使用申込みについて

いずれも承認

①日 時 7月9日(土) 18:00～22:00

主 催 岡山県歯科医師連盟岡山支部

②日 時 7月16日(土) 19:30～22:00

主 催 明海大学歯学部同窓会

5. 閉 会 (横見理事)

今日の視点 (西田宜可)

5月18日(水)から5日間、6名の先生方が身元確認派遣歯科医師として宮城県に赴かれました。最高気温が25℃の日があれば、9℃の日もありという寒暖の差と悪化していく遺体の状態等、過酷な環境下で33体の検死、38体の照合をしていただきました。また、6月12日(日)から一週間、歯科医療従事者派遣歯科医師として4名の先生方が同県で、診療所とは程遠い条件下で被災者の方々への診療

をしていただいております。各々「歯科医師として出来ること。人として出来ること」岡山県を代表しての思いを胸一杯に含み身元確認派遣歯科医師として貢献され、また、歯科医療従事者派遣歯科医師として貢献されていると思っております。私は先生方に対し感謝と敬意で心中は溢れんばかりの思いで一杯であります。

平成23年度 第11回

平成23年 6月23日(木)

18:30～20:18

1. 会長挨拶

土曜日開催の中国・四国役員連絡協議会、ご苦勞様でした。時間設定は日歯大久保会長と事前に話し合いの上で設定したのですが、本人が日時を勘違いされていた為、あわただしい退席となってしまうしました。大久保会長の少し、いなしながらの答弁には、若干の不誠実さを感じました。一方で、石井みどり議員の真面目な姿勢は、非常に印象に残りました。

2. 報 告

〔各部委員会〕

(1) 広報部編集委員会 6月16日(木)、22日(水)

(2) 学術部小委員会 6月17日(金)

(3) 医療管理部小委員会 6月22日(水)

〔本会関連の研修会・会議等〕

(1) 歯科医療従事者派遣 6月12日(日)～19日(日)

(2) 日本老年歯科医学会 6月16日(木)～17日(金)

(3) はぐくみ岡山 おぎゃっと21

6月18日(土)～19日(日)

(4) 平成23年度中国・四国地区歯科医師会役員連

絡協議会 6月18日(土)

(5) 日学歯 理事会 6月21日(火)

(6) 損保ジャパン・ジャパン保険との打合せ

6月21日(火)

(7) 日学歯創立80周年記念式典 6月22日(水)

(8) 日本学校歯科医会第79回総会 6月22日(水)

(9) 日学歯 歯・口の健康づくり調査研究事業説明会 6月23日(木)

(10) 平成23年度生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業連絡協議会 6月23日(木)

(11) 岡山大学 宮脇教授と打合せ 6月22日(水)

(12) 明海大学学長並びに同窓会長と面会

6月23日(木)

(13) メットライフアリコと面会 6月23日(木)

〔学院報告〕

(1) 教務会議 6月20日(月)

2年生に臨床実習医院の選定

(2) 合同検診 6月22日(水)

1年生の口腔を3年生が検診

〔事務局報告〕

(1) 岡山県総合政策局統計調査課経済統計班

渡辺副参事来会

2年前に基礎調査 来年2月に経済の国勢調査(報告義務あり)

3. 行事予定

本会行事 62件

学院行事 10件

国保組合行事 4件

4. 協 議

〔各種依頼事項〕

(1) 第35回中国地区口腔公衆衛生協議会各県協議会並びに出席者名簿と回答及び配布資料の提出について

6月30日(木)に打合せ会

回答期限 7月4日(月)

(2) 第112回都道府県会長会議の開催と出席依頼について

酒井会長 出席

日 時 8月26日(金) 14:00

(17:00終了予定)

場 所 歯科医師会館 大会議室

(3) 第22回日本歯科医学会総会案内と学術プログラム(テーブルクリニック, ポスターセッション)演題の推薦依頼について

学術対応(会報附録で周知)

期 日 平成24年11月9日(金)~11日(日)

場 所 大阪国際会議場

締 切 平成23年8月5日(金)

(4) 健康保険組合連合会岡山連合会より組合担当者を対象とした研修会の開催と講師派遣依頼について

詳細を確認(西岡理事)

日 時 9月8日(木) 14:00(120分程度)

場 所 ピュアリティまきび【予定】

参加者 10名程度(8健康保険組合)

内 容 歯の健康について

(5) 岡山県総合政策局より「経済センサスー活動調査」実施に伴う協力・支援依頼について(会員への周知依頼)

会報等に掲載で周知

調 査 平成24年2月1日

〔検討事項〕

(1) 医療従事者派遣歯科医師報告会の日程について
7月4日(月) 20:00

三役, 公衆, 広報, 派遣歯科医, 衛生士(武田・福田)

5. 閉 会(毛利理事)

今日の視点(伊丹義明)

明細書の無償発行義務化が本年5月より始まり, 3ヶ月となりますが如何でしょうか?

昨年末、中医協が行った無作為調査によりますと、歯科診療所の3割強が明細書を発行しているが、患者の6割強はその必要性を感じていないという結果が出ています。この現実は何？

しかし、時代の流れで今後、明細書発行は当たり前となっていくと感じています。

平成23年度 第12回
平成23年 6月30日(木)
18:30~20:17

1. 会長挨拶

業界新聞が、中国四国役員連絡協議会での岡山県より日歯への質問を取材記事のトップとして掲載するようです。全国を取材したが、他の県とは姿勢が違うと言われ、心地良い思いでした。

2. 報 告

〔各部委員会〕

- (1) 社保小委員会 6月23日(木)
- (2) 公衆衛生部小委員会 6月27日(月)
- (3) 総務部調査事業部会 6月28日(火)
- (4) 医療管理部 正・副委員長会 6月29日(水)

〔本会関連の研修会・会議等〕

- (1) NPO救命おかやま2011記念講演会・懇親会
6月24日(金)
- (2) 身元確認派遣歯科医師報告会打合せ
6月24日(金)
- (3) 第22回日本スポーツ歯科医学学術大会・総会
6月25日(土)~26日(日)
- (4) 岡山県健康づくり財団理事会 6月28日(火)
- (5) 岡山県警察友の会理事会・総会 6月28日(火)
- (6) 中国地方社会保険医療協議会岡山部会

6月28日(火)

- (7) 岡山県要保護児童対策地域協議会

6月29日(水)

- (8) 8020推進財団評議員会 6月29日(水)

- (9) 平成23年 6月保険医療関係機関連絡会議

6月30日(木)

- (10) 岡山県学校保健会第2回理事会並びに表彰審査会 6月30日(木)

- (11) 福原公認会計士と面会 6月30日(木)

- (12) 中国地区口腔公衆衛生協議会打合せ

6月30日(木)

〔学院報告〕

- (1) 修学旅行 6月30日(木)~7月2日(土)

〔国保報告〕

- (1) 本部 理事会 6月29日(水)

3. 行事予定

本会行事	62件
学院行事	10件
国保組合行事	3件

4. 協 議

〔各種依頼事項〕

- (1) 岡山県保健福祉部健康推進課より「津山市子ども医療費公費負担制度拡大にかかるお知らせ」の本会会報への掲載依頼について

8月号で掲載 検討委員会でも伝達

- (2) 平成23年度 第13回中規模県歯科医師会連合会の開催と出席者・協議事項の提出依頼について

酒井会長、大嶋専務 協議議題は検討

日 時 8月25日(木) 16:00

19:00 (懇親会)

場 所 アルカディア市ヶ谷 (私学会館)

- (3) 岡山県保健福祉部健康推進課より「地域保健関係職員研修会 (歯科保健研修)」の開催と参加依頼について

公衆衛生対応

日 時 8月26日(金) 13:00~16:30

場 所 岡山衛生会館

定 員 100名(8月12日締切)

- (4) 北海道歯科医師会より「医療連携に関するアンケート」への協力依頼について

公衆衛生対応

締 切 7月8日(金)

- (5) 岡山市防火安全協会より平成23年度会費の納入依頼について

承 認

- (6) 健康保険組合連合会岡山連合会より組合担当者を対象とした研修会の開催と講師派遣依頼について【再掲】

平岩常務, 横見理事, 毛利理事で協議

日 時 9月8日(木) 14:00(120分程度)

場 所 ピュアリティまきび【予定】

参加者 10名程度(8健康保険組合)

内 容 歯の健康について

- (7) 岡山県薬剤師会薬事情報センターより平成23年度協賛金納入依頼について

承 認

〔検討事項〕

- (1) 第75回全国学校歯科保健研究大会の開催と出席案内について

公衆衛生対応

期 日 10月20日(木)・21日(金)

場 所 愛媛県県民文化会館

(ひめぎんホール)

- (2) 「ともしび会」より補助金申請について

承 認

申請額 40,000円

- (3) 中国地方社会保険医療協議会臨時委員の任期満了に伴う再任意見書について

伊丹常務 留任

現任者 伊丹常務理事

- (4) 本会入会申込みについて

承 認

正会員 ^{おおまへ}大前 ^{まさのり}正範(津山支部)

(7月1日入会)

- (5) 本会会館使用申込みについて

日 時 7月23日(土) 18:30~19:30

主 催 芳歯会

5. 閉 会(塚本理事)

今日の視点(鈴木聖次)

岡歯会報には各方面より掲載依頼があります。

本日は岡山県保健福祉部健康推進課長より津山市における公費負担制度拡大についての掲載依頼が入りました。7月1日より実施の文書が6月30日に手元に届いたのでは当然7月号への掲載は無理で1ヶ月遅れで8月号の掲載となりますが、何故1ヶ月早く手続きができないか疑問に感じます。東日本大震災の復旧、復興に対する政府の対応の鈍さも、正に縦割り行政の弊害で、民間組織の合理性をまず取込むことが最も急がれる機構改革であると思われます。

30年程「岡歯会報」の編集に携わってきましたが時代の流れでしょうか、会員の皆様からの投稿がほとんどありません。30年前は文才豊富な何名かの会員がユーモアに富んだ、また際どいエッセーを随時投稿くださり、それを楽しみに会報の到着を心待ちにしていた先生も多かったと聞いております。俳句、川柳、エッセー等、何でも結構です。会員の皆様からの投稿をお待ちしております。

平成23年度 中国・四国地区歯科医師会連合会 役員連絡協議会

6月18日(土)午後16時より、ホテルグランヴィア岡山に於いて「平成23年度 中国・四国地区歯科医師会連合会 役員連絡協議会」が開催された。

司会：岡山県歯科医師会専務理事 大嶋 敏秀

1. 開会の辞 岡山県歯科医師会副会長 藤井 龍平

2. 挨拶



岡山県歯科医師会会長 酒井 昭則

一言ご挨拶を申し上げます。大久保・高木両会長、役員の先生方、お忙しい中のご出席ありがとうございます。また石井議員におかれましては、被災地での精力的なご活躍を聞き、改めて前向きでひたむきな姿勢に敬意を表します。中国四国8県の先生方、本日はどうぞよろしくお願い致します。

「震災」が頭から離れません。あってはならないことが起こり、原発はいつになったら落ち着くのか分からない状態が続く、すっきりしません。改めて人類の知恵の限界を感じていますが、復興に向けて世界中の英知を結集しなければならないと思っています。そして、家族・地域社会・業界などの「連帯」と「絆」が、唯一の救いであろうと感じています。そんな中で、日歯・連盟の誠実な対応を組織の一員として誇らしく感じています。何百年に1度の有事に際し、被災された先生方の一刻も早い診療再開の為にきめ細かい支援を望みます。本当に困ったときに頼りになるかどうか、組織の根源的な求心力に繋がり、その背景には会員同士の連携と絆があると思われます。未入会者の問題に関しても様々な議論がされてきましたが、本質はここにあると思います。もし、日本歯科医師会の本当の意義が国民の歯科医療を守る事であると仮定するならば、被災された未入会の先生方にも手を差し伸べるような議論も必要であるかもしれません。

両会長にはどうか、震災への対応を風化させないように思いを寄せ、あらゆる機会を通じて発信し続けて下さい。

3. 来賓挨拶

日本歯科医師会会長 大久保 満男

本日は中国・四国地区歯科医師会連合会がこのように盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げますと共に、開催県としてご尽力された岡山県の先生方に心より敬意を表します。また平



素から日本歯科医師会の会務にご理解とご支援を賜りますことを併せてお礼を申し上げます。

3点ご報告させていただきます。まず、歯科口腔保健法案に政党・党派を超えて臨んでいただき、今国会で成立をしたいという思いでいます。次に震災の義援金に関してですが、6月16日には3億円を超える義援金が集まりました。一刻も早く配りたいのですが、現地での対応がまだ整っていないため、待っている状態です。いずれにしても公平に公正に使いたいと思っています。歯科医師が大震災でお亡くなりになった身元不明者7千数百のご遺体の口腔内所見をとったのは歴史的にも初めてのことでしたが、日本のマスコミは現場のご遺体をTVに映さないで、先生方のご苦勞を少しでも多くの方に分かっていただくために「災害特集の本」を作成中です。最後に、窓口での負担金に定額100円を上乗せするという政府案に対し、三師会で反対していることをご報告いたします。私は、社会保険3割負担というのは、社会保障の限度を超えており、1割に戻すことが理想だと思っています。

日本歯科医師連盟会長 高木 幹正

4月から連盟を預らせて頂いています。今連盟は日歯と行動を共にしております。

今後共日歯と一体化し、一緒になって歯科界の環境を改善することに汗をかかせて頂こうと思っています。

参議院議員 石井 みどり



3月11日から3ヵ月目の先週6月11日に南三陸町へ行かせて頂きました。映像で見たものと同じような光景ではありますが、胸にせまるものが全く違いました。力を合わせてやっていくしかないと思っています。

先生方からの生の声を聞かせて頂くこと、それこそが私の行動の源でありエネルギーとなります。

4. 来賓紹介

5. 出席者紹介

6. 議長・副議長選出

- ・議長 酒井 昭則（岡山県）
- ・副議長 織田 英正（高知県）

7. 日本歯科医師会報告

日本歯科医師会報告が村上恵一専務理事より、日歯会務現況報告、東日本大震災の被災地支援活動報告を中心になされた。被災地支援活動報告のなかでは、会員被災状況、支援物資、身元確認作業への派遣状況、義援金の現況等についての説明がなされた。

8. 日本歯科医師連盟報告

日本歯科医師連盟報告は島村 大理事長より東日本大震災被災地への視察、厚労省、民主党、自民党等との面談、要望等の活動状況の報告がなされた。

9. 報 告

(1) 日本歯科医師会 地区推薦委員

(敬称略)

予算決算特別委員会委員 清水 恵太 (愛媛県)
議事運営特別委員会委員 和田 明人 (徳島県)
社会保険委員会委員 宮井 義博 (徳島県)
地域保健委員会委員 野村 圭介 (高知県)
定款等改正臨時委員会委員 沖 義一 (高知県)

(2) 日本歯科医学会評議員・予備評議員

(敬称略)

評 議 員 原瀬 忠広 (愛媛県)
廣田 吉明 (鳥取県)
予備評議員 小林 悟 (愛媛県)
石亀 裕通 (鳥取県)

(3) 歯の健康力推進歯科医師等養成講習会
開 催 県 高知県歯科医師会

10. 協 議

1. 東日本大震災の被災地への支援について各県の対応をお伺いしたい。 (高知県)

・各県の資料をまとめて送付する。

2. 平成24年度診療報酬改定に関する日本歯科医師会の基本的な考えをお伺いしたい。

(鳥取県)

【提案理由】 このことについて、日本医師会は、日歯広報・業界紙等によると、東日本大震災の復興を最優先にするため、診療報酬と介護報酬の同時改定の見送りを細川厚生労働大臣に要請する方針のようだが、日本歯科医師会は、日本医師会と歩調を合わせるとのことであるが、どのような対応をする意向なのか現況を踏まえご意見をお伺いしたい。

・日本医師会は改定の見送りを要請するようだが、日本歯科医師会は日本歯科医師会の考えを述べさせて頂く。日医が改定を見送るから日歯も見送るということはない。ただ3師会がまとまるということも大切なことであり状況を見ながら日本歯科医師会として次期診療報酬改定への対応をきちんと出したいと思っている。

3. 多忙な診療の中、本会の会務執行に携わっていただいている役員の方に対する退職金制度等について、各県の状況をご教示いただきたい。 (島根県)

・各県の資料をまとめて送付する。

4. その他

岡山県からの「会員に負担になっている文書提供に関し条件緩和を求めてもいいのではないか」

との質問に対し「医科にも文書提供があり，全廃は無理であるが日本歯科医師会として今までもおこなってきたが，これからも緩和に向けて努力してまいりたい」と答えた。

11. 閉会の辞 岡山県歯科医師会副会長 黒住 正三

最後に黒住正三岡山県歯科医師会副会長による閉会の辞で，平成23年度中国・四国地区歯科医師会連合会役員連絡協議会は終了した。

総務部 会館運営

ギャラリー特別展示のお知らせ

東日本大震災 身元確認出動・歯科医療従事者派遣の記録

今回特別企画といたしまして，会館1階ギャラリー及びロビーにて東日本大震災「身元確認出動の記録」及び「歯科医療従事者派遣の記録」のパネルを展示いたしております。

10月初旬まで展示予定ですので，会館にお立ち寄りの際は，是非ご覧ください。



Monthly Dental News Review (84)

平成23年

6月13日(月) ▶ 歯科保健法案 今国会に提出へ

民主党の歯科議連が総会

15日(水) ▶ 春の藍綬褒章……歯科関係で3人が受賞

受章者

▽織田英正 高知県歯科医師会会長、65歳。高知県高知市升形4-14

▽村上英夫 兵庫県歯科医師会副会長、64歳。兵庫県宝塚市雲雀丘2-5-4

▽古橋博美 日本歯科技工士会会長、61歳。静岡県浜松市西区馬郡町3895-1

(敬称略)

17日(金) ▶ 山梨の保険医 原告の小児科医が勝訴
取り消し訴訟

関東信越厚生局が上告を断念

21日(火) ▶ 支払基金3月診療分 歯科の点数 全国で4.4%減

診療種別支払確定件数及び点数

(23年3月診療分)

診療種別		件数		構成割合	点数		構成割合
		千件	対前年同月比 %		千点	対前年同月比 %	
総計		82,035	105.0	100.0	124,382,234	104.3	100.0
医科	計	45,881	104.0	55.9	87,532,573	103.9	70.4
	入院	804	98.2	1.0	36,469,199	104.6	29.3
歯科	入院外	45,077	104.1	54.9	51,063,374	103.4	41.1
	調剤	9,423	98.0	11.5	11,619,107	95.6	9.3
食事・生活療養費		26,692	109.7	32.5	25,230,554	110.6	20.3
訪問看護療養費		696	97.5	0.8	—	—	—
訪問看護療養費		39	112.3	0.0	—	—	—

(注)件数の総計は、食事・生活療養費を除く数値。点数の総計は、食事・生活療養費、訪問看護療養費を除く数値。社会保険診療報酬支払基金の統計月報を基に本紙で集計したもの。

23日(木) ▶ 医療経済実態調査票誤送付 22日現在、832施設

厚労省が中医協総会で報告、謝罪

厚労省は22日に開かれた中医協総会で、医療経済実態調査票の誤送付は病院、医科診療所、歯科診療所、保険薬局合わせて832施設(うち歯科診療所102施設)にあったと報告した。誤送付が発覚した10日には414施設と発表しており、12日間で2倍に膨れ上がった。外口崇保険局長は総会の席上で謝罪したが、診療側、支払側の双方から再発防止を求める声が相次いだ。

民主党の歯科医療議員連盟(会長・小沢鋭仁衆議院議員)は10日に総会を開き、歯科口腔保健の推進に関する法律案(通称・歯科保健法)と身体障害者福祉法の改正法案を了承した。党内手続きを進め、野党と調整した上で両法案を議員立法として参議院に提出したい意向だ。

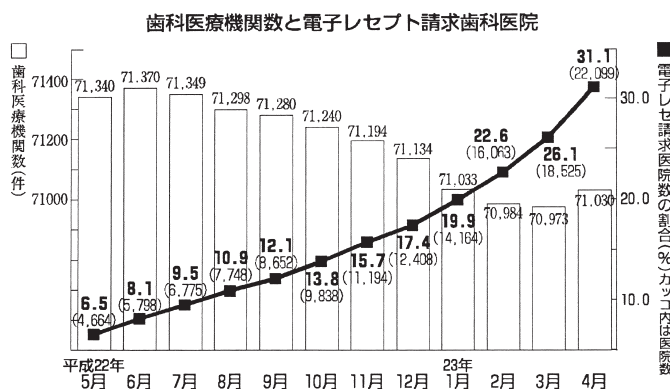
インフルエンザの診断割合の高さなどを理由に2004年に山梨県社会保険事務局から保険医と保険医療機関指定の取り消しを受けた山梨県の小児科医・溝部達子氏が国を相手取り、処分を取り消しを求めた訴訟で勝訴した。15日に厚労省関東信越厚生局が上告を断念した。

24日(金) ▶日歯福祉共済金 全壊、流失等800万円
東日本大震災の被災会員に支給

日本歯科医師会（大久保満男会長）は、東日本大震災における被災会員の福祉共済金支給の取り扱いについて、全壊・流失・全焼、大規模半壊の場合は800万円、半壊・半焼は見舞金として200万円を支給する。23日の会見で発表した。被災会員の共済金の取り扱いなどについては2日の日歯臨時代議員会で議案として上程され、会長一任となっていた。

27日(月) ▶歯科診療所 電子レセ3割を突破

4月診療分 一部例外を除き義務付け



全請求歯科医療機関数に占める電子レセプト請求施設数の割合が平成23年4月診療分で3割を超えた。歯科の全請求医療機関数は7万1030施設で前月に比べ57施設増加。電子レセプトは2万2099施設で前月より3574施設増え、全体に占める割合は31.1%となった。

厚労省が23日に発表した平成22年度社会医療診療行為別調査（6月審査分）で、歯科の初・再診料と在宅医療関連の1件当たり点数、1日当たり点数が、ともに前年同月比と比較して1割以上増加したことが分かった。平成22年度診療報酬改定で初・再診料や在宅歯科関連の点数を評価したことが大きく影響している。

29日(水) ▶歯科の初・再診料 前年比、点数・件数とも増加
や在宅医療関連 厚労省 22年度診療行為別調査

7月4日(月) ▶8020財団 4月から公益法人に
評議員会で報告

8020推進財団（大久保満男理事長）は4月1日に財団法人から公益財団法人に移行していた。6月29日に開かれた第1回評議員会で報告があったもの。

▶日歯義援金
全壊には約60万円

日本歯科医師会（大久保満男会長）の東日本大震災義援金が6月24日までに3億1954万478円集まった。うち1500万円は、被害の大きかった岩手、宮城、福島には5月11日にそれぞれ500万円ずつ渡している。

▶日歯連盟見舞金
半壊以上は20万円

日本歯科医師連盟（高木幹正会長）は6月24日の理事会後の会見で、総額1億円の見舞金の分配方法について、被害の大きさに関係なく、一人当たり一律20万円程度との見通しを示した。

6日(水) ▶歯科医の死因調査 自殺の平均年齢53.1歳

日歯 最低年齢35歳も過去5年で最低

日本歯科医師会の福祉共済制度加入者の平成22年度死因調査で、「自殺」は14人で9位だった。過去5年間で自殺者が最も多かった平成18年度の33人と比較すると半数以下だが、平均年齢は53.1歳、最低年齢は35歳と、いずれも過去5年間で最も低い結果となった。背景には、歯科医療を取り巻く環境の悪化が予想される。

調査は日本大学松戸歯学部歯科麻酔学講座の協力によるもの。

平成22年度 福祉共済制度加入会員の死因

	人数(割合)	最高年齢	最低年齢	平均年齢
1 悪性新生物	239 (34.5%)	98	35	73.5
2 呼吸器疾患	151 (21.8%)	102	41	84.4
3 心臓疾患	80 (11.6%)	101	46	80.7
4 脳血管疾患	41 (5.9%)	101	45	77.3
5 老衰	32 (4.6%)	102	72	91.7
6 腎疾患	29 (4.2%)	98	61	82.4
7 糖尿病	18 (2.6%)	94	63	79.1
8 事故	18 (2.6%)	93	40	76.9
9 自殺	14 (2.0%)	73	35	53.1
10 肝・胆疾患	11 (1.6%)	83	54	70.7
11 消化器疾患	8 (1.2%)	100	71	86.8
その他	46 (6.6%)	99	46	79.3
診断書なし	5 (0.7%)			
計	692 (100.0%)	102	35	78.5

第3回 社会保険部検討委員会報告

平成23年6月4日(土) 16:00~18:00

1. 報 告

(1) 5月新入会員 2名

(2) 中国四国厚生局との協議会 5月12日(木) 16:30 第2会議室
伊丹常務理事, 西岡理事, 田頭理事, 後藤委員長

(3) 支払基金幹事会 5月16日(月) 14:00 酒井会長

・平成23年2月診療分

前年同月対比 支払額 98.1% 件数 100.0%

前 月 対 比 支払額 102.4% 件数 99.6%

・本人 レセプト1件当たりの平均点数

平成23年1月診療 岡山県 1,259.3点 全国平均 1,259.2点

平成22年1月診療 岡山県 1,270.2点 全国平均 1,272.9点

前 年 同 月 対 比 岡山県 99.1% 全国平均 98.9%

・家族 レセプト1件当たりの平均点数

平成23年1月診療 岡山県 1,017.0点 全国平均 1,050.5点

平成22年1月診療 岡山県 1,021.4点 全国平均 1,047.0点

前 年 同 月 対 比 岡山県 99.6% 全国平均 100.3%

(4) 中国地方社会保険医療協議会 岡山部会 5月24日(火) 13:30

伊丹常務理事 新規指定医療機関 4 医療機関

(5) 社会保険部正・副委員長会

5月30日(月) 20:00

伊丹常務理事, 西岡理事, 田頭理事, 後藤委員長, 佐藤副委員長, 友澤副委員長

(6) 社保相談窓口報告

(7) 国保審査委員会報告 (レセプト1件当たりの平均点数)

平成23年1月診療 国保 1,302.1点 後期高齢者 1,490.5点

平成22年1月診療 国保 1,311.7点 後期高齢者 1,497.7点

前 年 同 月 対 比 国保 99.3% 後期高齢者 99.5%

2. 行事予定

(1) 平成23年度 第1回 審査委員・検討委員連絡協議会 7月2日(土) 16:00 5F ホール

3. 協 議

(1) 検討委員会からのお知らせ

(2) 平成23年度第1回審査委員・検討委員連絡協議会協議題について

日本老年歯科医学会 第22回学術大会報告

東日本大震災の影響にて一時開催が危ぶまれていましたが、6月16日(木)・17日(金)の両日、京王プラザホテルを主会場に日本老年歯科医学会 第22回学術大会が開催され、公衆衛生部より山本副委員長と角谷の2名が出席してまいりました。

日本老年学会総会との併催の年のため、日本老年医学会、日本老年社会科学会、日本基礎老化学会、日本老年精神医学会、日本ケアマネジメント学会、日本老年看護学会との合同開催で、ポスター発表は合同会場で展示されていまして、多数の発表を目にすることができました。

「多職種協働で守る口腔の健康」がテーマとして取り上げられた日本老年歯科学会の今回のシンポジウムは、シンポジウム1「歯科訪問診療を考える」、シンポジウム2「協働—歯科衛生士の活躍の場」、シンポジウム3「総合病院での歯科の役割」、すべてのシンポジウムが医療連携、チーム医療に関連した内容で、医療連携の輪にいかに入り込むかが、大きな課題と再認識させてくれました。シンポジウム1は、東京都歯科医師会、島根県歯科医師会、福岡県歯科医師会の在宅歯科診療推進に関わる取り組みが報告されました。各歯科医師会とも嚥下障害に対する評価、対応への要望に応えるため、VEの相互実習などを含む会員向け講習会など「スキル」アップと、地域医療連携の「システム」など、チェンジが求められている在宅医療への課題、対応が主な内容でした。

まだ各地域とも十分な医療連携が取れているとは言い難い状況ですが、東京都歯科医師会の細野 純先生は「システムの前に実践あり」と結んでいました。失敗を恐れず医療連携の中に入り込んでみる試みが大切かと感じました。

またセミナーでは、日本歯科大学の菊谷教授より、誤嚥性肺炎のハイリスク者抽出のためのスクリーニング表とケアプラン作成のためのアセスメント表の紹介と、口腔ケアへの歯科医療者の係わりについてのほか、九州歯科大学の柿木教授の「保湿を考慮した高齢者の口腔ケア」、兵庫医科大学の岸本准教授の「保湿を意識した かんたん口腔ケア」など口腔ケア関連の講演も多数の方が聴講されていました。

東京都歯科医師会は、1診療所1か月に1人の訪問歯科診療の実施を目標に掲げているそうです。0と1では大きな違いです。まず1歩、私たちも踏み出せるといいですね。

(委員長 角谷真一)

地域保健関係職員研修会(歯科保健研修)の開催について

日 時 平成23年8月26日(金) 13:00～16:30

場 所 岡山衛生会館 5階中ホール

主 催 岡山県

内 容

テーマ：発達障がい児のむし歯予防をどのように取り組み、スムーズな歯科受療行動に結びつけるための普段からの働きかけについて

講演1. 松尾 冀 先生 岡山短期大学幼児教育学科教授（前 津島児童院勤務）
「発達障がいとは」

講演2. 堀 雅彦 先生 旭川荘療育センター児童院歯科医長
「発達障がい児におけるむし歯のゼロ次予防」

講演3. 中川 正嗣 先生 長島愛生園歯科医長
「発達障がい児の歯科治療」

対 象 行政保健師・栄養士・衛生士、教職員、その他関係職種（無料、定員100名先着順）

※受講希望の方は、8月12日までに歯科医師会事務局にお申込みください。

— 予 告 —

岡山県では、発達障がい児をテーマとした研修会を3回シリーズで開催予定です。詳細が決まり次第、ご案内します。

第2回 平成23年11月26日(日) 会場・時間未定

久保田 恵 先生 岡山県立大学准教授（保健福祉学部栄養学科）
「嫌いなものが好きになる～食べる・育てる～」

山本 隆 先生 畿央大学教授（大阪大学名誉教授，口腔生理学）
「ヒトは脳から太る～子どもの時から味覚を育てる～」

第3回 平成24年1月22日(日) 会場・時間未定

森崎 市治郎 先生 大阪大学教授（大阪大学歯学部附属病院長，障害者歯科治療部）
「発達障がい児への歯科保健指導」～自閉症児の歯磨き指導～

第11回日本スポーツ・健康づくり歯学協議会 (JSHP協議会), 第22回日本スポーツ歯科医学会総会・学術大会報告

6月25日(土)、26日(日)に千葉市文化センターにおいて、上記協議会、総会・学術大会が開催されましたので報告します。

『協議会』

杉山義祥協議会会長の挨拶の後、浅野薫之大会長(千葉県歯科医師会会長)、安井利一日本スポーツ歯科医学会理事長が挨拶されました。その後平成22年度事業報告、協議会役員、収支決算、協議会の運営、次期開催県が東京都との報告がありました。その後の協議では、岐阜国体に対する岐阜県歯科医師会並びに岐阜県スポーツ・健康づくり歯学協議会の取り組みについて、協議会幹事長の西脇孝彦先生から報告がありました。これからの協議会は国体にスポットをあてて、国体の前年に国体開催県で行うことが決まりました。5年間にわたり学会と同時開催していましたが、来年度からは別々の土地で行うことになりました。しかし、今まで同様、車輪の両輪のように臨学一体を目指し、お互いの協力は惜しまないとのことでした。



『学術大会』

協議会に引き続き、スポーツ歯科医学会とスポーツ・健康づくり協議会の開会式が行われ、安井理事長、川良美佐雄学術大会大会長、浅野協議会大会長、杉山協議会会長の挨拶の後、柳川日歯常務理事、の来賓挨拶があり、2日間にわたる学術大会が開催されました。「生き生きスポーツライフ 日本のスポーツを歯で支えよう」をメインテーマに、シンポジウム1題、教育講演1題、特別講演・市民公開講座1題、一般口演13題、ポスター発表34題、認定医のための講習会と盛りだくさんの内容でした。



シンポジウムでは「生き生きスポーツライフ 日本のスポーツシーンを語る」と題して、筑波大学人間総合科学研究科教授の久野譜也先生が「中高年者における身体活動量の増大を可能とするまちづくりの重要性」、高知県開業医の佐々木幸生先生が「障害者スポーツー障害のある人々のスポーツー」、フリークライマーの尾川智子さんが「クライミングにおける女性の競技および生涯スポーツとしての問題

と現状」と題し講演されました。自らが脊髄損傷により車いす生活者である佐々木先生の話には心を打たれ、健常者と障害者の枠を超え、いつでも、どこでも、だれでも、いつまでもできるスポーツ環境整備の重要性を感じました。

教育講演では「進化するスポーツと勝負脳」と題し、日本大学総合科学研究科・林成之教授が、北島康介選手が北京オリンピックでの勝負に脳の仕組みをどのように活かしたかなどのお話を交えて、進化するスポーツに対応するところと勝負脳の本質について述べられました。脳の特性については、聞いていて大変興味をそられました。

今回の学術大会では、スポーツ歯学を通じた健康づくり、環境づくり、メンタルサポートなど生涯を通じてスポーツができるように周りの環境を整備する必要性を感じました。また、来年度より協議会と学会の同時開催がなくなりますが、其々協力しながら、日本のスポーツ歯科がより発展し、国民の利益につながるように願っています。



(理事 毛利行雄)

— 平成23年度岡山県歯科医師会生涯研修セミナーのお知らせ —

テーマ：歯科診療時の救急処置と救急薬品の使い方 —その理論と実際—

日 時：平成23年10月2日(日) 9：30～13：00

講 師：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

歯科麻酔・特別支援歯学分野教授 宮脇 卓也 先生

歯科治療時に伴って全身偶発症が発生する頻度は少なく、救急処置が必要な場合は非常にまれだといえます。そのため、救急処置は急にしないではいけませんが、急にはできない処置、になってしまいがちです。そのため、わかりやすく図示された「緊急時の対応」が用意され、早急にできるよう対策がとられたりしますが、それでもなかなかできないのが救急処置ではないでしょうか。本講習会で「最新の救命処置ガイドライン」「不快症状への対応」「緊急薬品の使い方」などについて説明、実際に筋肉注射・静脈注射の実習をしていただき、救急に関する知識・手技をリフレッシュしていただければ幸いです。

医療管理ニュース

医療監視に備えよう!!

「備えあれば、憂いなし」

前号では、岡山市、倉敷市の医療監視の現状についてお知らせしました。現段階では、「診療所自主点検票」による調査までですが、実際の医療監視の場では、以下のようなものが必要となります。

【医療監視に際して準備しておく物】

他県の事例では、事前に保健所から指示がある事が多いようです。

- ・医療安全管理指針・院内感染対策指針等の書類（医療安全管理必携を活用）
- ・医療従事者の免許証
- ・従業員の健康診断書
- ・院内掲示物（管理者・歯科医師名・診療時間など、施設基準に係るもの）
- ・X線管理区域の表示
- ・医療廃棄物の委託契約書、マニフェスト

【監視時に指摘される事項】

上記内容のほかに、以下のようなことが指摘されるようです。
もちろん、各保健所により、若干の違いはあると思われます。

- ・滅菌消毒方法について
- ・非常灯、消火器など
- ・投薬の説明書の交付について
- ・個人情報の取り扱いについて
- ・カルテの保存、収納について
- ・X線の被曝線量、漏洩検査の測定記録（半年ごと）
- ・医療広告について
- ・歯科衛生士、歯科助手の業務内容
- ・従業員の研修記録（年2回）

一度に全てをそろえるのは大変です。日頃から「医療安全管理必携」にしっかりとご記入頂き、各項目に対して不備のないようにご準備下さい。

平成23年度 レクリエーション大会
(東日本大震災復興支援チャリティー大会)

直島ファミリーフィッシングのご案内



日 時 9月4日(日) 午前8時～午後1時頃

集合場所 香川県直島「直島つり公園」

TEL 087-892-2891

昼食・おみやげ付き

トイレ・無料休憩所完備

参加費用 2,000円(会員)

1,000円(家族・スタッフ)

※尚, 小学生以下は無料です。

締め切り 8月20日(土)



園内には、固定栈橋・浮き栈橋・釣りいかだ・釣り堀があり、ビギナーやファミリーが楽しむことのできるフィッシング・スポットです。

直島は今、芸術の島として観光地になっています。

帰りには様々なアートを巡り、一度に二度おいしい思いをされる方も多いようです。



「自然と人間を考える場所」として、直島の美しい景観を損なわないよう建物の大半が地下に埋設された「地中美術館」をはじめ「ベネッセ ハウスミュージアム」「李禹煥美術館」

また、現在も生活が営まれる地域で、点在していた空き家などを改修し、人が住んでいた頃の時間と記憶を織り込みながら、空間そのものが作品化されている「家プロジェクト」など

詳しくは、

直島つり公園

検 索

ベネッセアートサイト直島

検 索

津山支部

口腔フェア2011

津山支部では口腔フェアの事業として老人介護施設を毎年訪問しております。今年は6月5日、介護老人保健施設「弥生が丘」で実施しました。歯科医師11名、歯科衛生士11名、さらには津山技工士会も参加していただき、口腔内診査、口腔清掃指導、義歯の清掃と、それぞれの分野を担当しました。

約100名ほどの老人の方の口腔を診させていただきましたが、当然のことながら残存歯の状態、義歯の適合度など個々でさまざまな状態にあります。それを歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士が流れに沿ってその人に合った適切な処置、指導ができることは大変有意義なことと思われま

す。誤嚥性肺炎の予防や防止に口腔内清掃は欠かせません。今回の口腔フェアが老人の口の健康に、さらには全身の健康に大きく寄与する事を信じて止みません。

(モニター 藤田元英)



津山支部

津山支部旅行「九州新幹線で行く熊本1泊2日の旅」

津山歯科医師会は6月8～9日、村上新会長での初の支部旅行「九州新幹線で行く熊本1泊2日の旅」を楽しみました。梅雨に入り、天候が気がかりでしたが参加された先生の日ごろの行いが良かったのか、晴れ女・晴れ男の先生のおかげか晴天にも恵まれ、大変楽しい旅行となりました。

3月に全線開通した九州新幹線さくらで岡山～熊本間は2時間半ほど。楽しい会話がはずむ中、あっという間に熊本着となりました。その夜はライトアップされた熊本城が目の前の料亭で熊本の郷土料理、馬刺し、辛子レンコンを堪能し、その後は熊本ラーメンを、また九州らしい夜を求めて、熊本の夜を散策された先生もたくさんいました。

翌日はゴルフ組、観光組、自由行動組に分かれての行動です。ゴルフは熊本空港カントリークラブでプレーを楽しみました。観光組は午前中は晴天のお陰で阿蘇草千里の雄大な眺めを楽しみ、午後には石垣の美しい熊本城、復元された本丸御殿を見学し、天下の名城熊本城の素晴らしさを実感しました。自由行動では鹿児島まで鉄道の旅を楽しまれた先生もいました。

小松副会長が準備されたお土産リストのお陰で、迷うことなく購入した土産物をぎっしり詰めた紙袋をどの先生も両手にさげて新幹線で岡山まで帰ってきました。帰りの新幹線の中では次回の旅行の話も出て津山歯科医師会の和の精神をさらに深めることのできた楽しい1泊2日旅行でした。

(モニター 藤田元英)



御津支部

「2011年度 御津支部 支部旅行」

この度、支部旅行として6月25日、26日の1泊2日で鹿児島に行ってきました。

今年の3月に九州新幹線が全線開通ということで岡山～鹿児島間が乗り継ぎ無しで約3時間半！！ずいぶん近くなりました。数日前の天気予報では鹿児島はあいにくの雨、また、台風接近ということで心配しましたが、思いが通じたのか、雲はありましたが、予定通り観光でき、幹事としてはホッと胸をなでおろしました。

鹿児島到着後は日々の仕事を忘れ、郷土料理に舌鼓。芋焼酎・きびなご・とんこつ・さつま揚げ・酒寿司など次々と眼前に。やや大きめの茶色い夏の風物詩が出現というハプニングもありながら、締めにご当地デザートでボリューム満点の「白熊」（フルーツが乗っているカキ氷）をいただきました。食後は満腹になったおなかをさすりながら繁華街を遊歩、各々ホテルで疲れを癒したのです。

2日目はバスとフェリーに乗って「桜島」へ。幸い、少し雲はあるものの雄大な桜島の景観を堪能することができました。その後は、鹿児島市内に戻り、島津家ゆかりの庭園「仙巖園」を散策、ひと時、島津の殿様になった気分を味わい、「維新ふるさと館」にて西郷隆盛・大久保利通らの活躍を通して激動の明治維新について教養を深めました。

最後に城山観光ホテルで昼食をいただき、鹿児島中央駅から九州新幹線「さくら」に乗り帰宅の途へ。移動に多くの時間を割いた支部旅行でしたが、参加した皆さん全員事故もなく無事に岡山に帰ってきてやっと一息つけました。拙い幹事ではありましたが、参加してくださった先生方がすこしでも鹿児島、桜島を楽しんでいただけたなら幸いです。ありがとうございました。

(モニター 大嶋 淳)



新見支部

平成23年度 歯の衛生週間特別行事「歯の衛生展」



さる6月12日(日)に新見歯科医師会は、まなび広場にいみ小ホールで「歯の衛生展」を開催いたしました。この事業も昭和58年より始まり、今年で32回（平成19～21年は春・秋開催）を数えるまでになりました。

当日の総入場者数は約360人で、家族連れを中心に大勢の人でにぎわいました。

会場では新見歯科医師会会員6名と歯科衛生士13名が歯の検診や健康相談、う蝕活動性検査、ブラッシング指導、フッ素塗布等を無料で行うほか、来場した4歳から6歳児のむし歯のない子を対象に「良い歯の子」の表彰を行いました。

ブラッシングコーナーでは5名の歯科衛生士が対応して、ブラッシングのみならず代用甘味料やう蝕予防剤、母子感染などに関して活発な意見交換が行われました。

また、県歯より提供された「6歳白歯を守ろう」や「歯・口の健康と食べる機能」といったリーフレットを対象家族に配布することでより深い歯科啓蒙が行われたと思います。

来場した子供達にはもも丸ファミリーシールの配布も行われ、「かわいい!」と大受けでした。

フッ素塗布も集団用フッ素イオン導入装置フロリアート10を使用しており、本格的なフッ素塗布が無料で受けられるとあって、「優秀賞」の対象年齢を越えて参加者の年齢



層の広がりや定着に一役買っています。

また例年、衛生展と合わせて新見阿哲の小中学校児童生徒の「歯の衛生週間ポスターコンクール」の入選作品も展示され、応募総数279点の内、特選45点、準特選65点の合計110点が展示されました。

昨年は一昨年に引き続き、ここから日本学校歯科医会主催の「歯・口の図画・ポスターコンクール」で佳作に1名の生徒が選ばれたことでますます活気を帯びています。

本年度で「歯の衛生展」は30周年になりました。新見市民にもすっかり認知されて、毎年多くの方に来場いただけるようになった反面、内容のマンネリや来場者が固定化するようになり、地域の過疎・少子化によって歯の衛生展の内容が現状とズレを生じるようになっていきます。歯の衛生展は児童・学童を中心とした歯科啓蒙活動であったために、成人～老人、要支援・介護者の口腔ケアに取り組もうとした際、既に小児を対象としたイベントであると認知されているために新たな試みを行うのが難しくなってしまうしました。

本年度を一区切りとして、歯の衛生展は形を変えるか規模を縮小して維持していきたいです。そして、新見市市民生活部・健康づくり課の協力の下、新見市内の保健団体に共催を働きかけて保健全般の健康イベント（新見市健康増進計画）へ取り組みたいと思っています。

最後に、「歯の衛生展」の開催にあたり、ご尽力いただきました関係各位に厚く御礼申し上げます。

（モニター 池田 正）

岡山県難聴者協会より矯正展（バザー）物品提供協力依頼

岡山県難聴者協会主催の矯正展に於いて開催されるバザーへの物品提供協力をお願い致します。

バザー開催日：10月22日(土)・23日(日)

場 所：岡山刑務所 〒701-2141 岡山県岡山市北区牟佐765

提供締切日：10月初め頃までに県歯事務局までお届け下さい

提供物品について具体例

- ・ タオル・シーツ・洗剤・衣類・日用品（できれば未使用）
- ・ 衣類等、中古のものは、きれいで使用に耐えるもの

注意

食品・生もの等はお断りしています。

「相 棒」

岡山支部 伏屋 昇

タイトルを読んで高視聴率刑事ドラマの話かと思われた先生方もいるかもしれませんが、残念ですがそうではありません。私はかれこれもう15年以上イギリスの某自動車メーカーの車に乗っています。それが今回の相棒です。エコカー減税などの世間の波に乗らないで今の時代にそんなに長くも同じ車に乗っているのは珍しいことかもしれませんがなかなか手放せないでいます。この車に関しては購入時に「壊れやすいからやめとけ」等いろいろアドバイスを受けたがまさかそんなに壊れないでしょうと根拠のない自信を持って購入しました。がしかし、というかやっぱりよく壊れます。今までの最大の危機は岡山に開業のため帰郷してくるときでした。朝5時に母校を見ながら出発。途中、世界一有名なネズミのテーマパークを横目に見ながら高速を疾走、首都高3号線を経て東名高速に突入、予定より早く海老名SAに到着。少しスピードを上げて大丈夫だろうと思い高速に再突入したのが悲劇の始まりでした。



快調に神奈川県を後にしようとした時、左側のボンネットから白煙がモヤモヤと立ち上がってきて「まさか！」と思い目前に迫っていた足柄SAに入り停止した瞬間先ほどにも増して白煙が。ボンネットを開けると映画でしか観たことのないようなシーンが……。1時間ほど周りの人の目を気にせずエンジンルームを団扇で扇ぎ冷却容器の蓋を開けると中は空っぽ。とりあえず良いのか悪いのか給水を行い次に白煙を噴いたらJAFを呼ぼう、エンジンに負担をかける冷房は入れないと心に決め出発。しかし、夏の車の中は冷房がないとまさに灼熱地獄、おそらくこの時以上に汗をかくことは一生ないだろうというぐらい汗をかき各SA・PAごとに自身の体と車に休憩・給水を行い、追い越していく車を恨めしく思いつつ名古屋に着いたのは出発して10時間以上経っていました。そこで1泊し翌朝給水を行い岡山に向け再出発、この日もSA・PAごとに停止して10時間以上かけて岡山に着きました。

あの危機から3年ほど経ちますがその間にも色々やってくれてますがこの相棒は相変わらず私のそばにいます。

今回は浜崎健介 先生（岡山支部）をご紹介します。

岡山高等歯科衛生専門学院学友会 「歯の衛生週間」ボランティア参加報告

岡山高等歯科衛生専門学院在校生で組織されている学友会では、東日本大震災直後より被災地および被災者に対して何かできることはないかと模索、検討を重ねてきました。そして、まずできることから始めようという声があり、大震災直後より教室に募金箱を設置して、募金を呼びかけました。また、県歯の平成23年度歯の衛生週間対外事業である「歯の衛生週間啓発活動」と「東日本大震災復興募金呼びかけ」にボランティア参加することになり、6月5日(日)岡山と倉敷において学生33名が参加をしました。

当日、岡山では表町商店街の天満屋前とシンフォニーホール時計台前で、倉敷ではくらしき健康福祉プラザで行われた倉敷歯科医師会主催「歯の健康フェア」の会場で、それぞれ歯の衛生週間チラシ配布と募金の呼びかけを行いました。学生たちは、将来歯科衛生士として社会に貢献するという自覚をしっかりとって、通りすがりの人々に一生懸命呼びかけを行いました。そして、「集まった募金には、たくさんの人々の大切な思いがある」と、協力して頂いた方々に対して大変感謝をしておりました。このボランティア参加は、「大震災被災者の方の力になりたい」という学生の率直な思いが人々に伝わった、充実した活動となりました。

学友会代表が6月21日(火)山陽新聞社本社に出向き、街頭で頂いた募金、教室に設置した募金箱の募金、そして学友会からの拠出金を合わせた総額139,901円を山陽新聞社社会事業団へ寄託しました。

(専任教員 植田智子)



表町商店街にて活動



倉敷健康フェアにて



山陽新聞社にて

52期生（平成24年3月卒業予定者）の求人申込みのお願い

52期生（平成24年3月卒業予定者）52名の就職活動は、本年10月より開始いたします。それに先立ち、求人を希望される会員の方には、所定の「求人票」の提出をお願いいたしますこととなります。

求人を希望される会員の皆様は9月26日(月)までに、学院に求人を希望する旨をご連絡下さい。ご連絡頂いた後、本学院より送付いたします所定の「求人票」に、必要事項を記入してご返送下さい。

※本学院における就職活動は、無料就職紹介事業（厚生労働省）に基づいています。

◇求人に関する連絡・問合せ先

岡山高等歯科衛生専門学校 担当：鹿島，奥山

電 話 086-223-0202 F A X 086-233-4363

◇出身地別学生数

出身地	岡山市	倉敷市	玉野市	真庭市	赤磐市	和気郡	瀬戸内市	総社市	美作市	井原市	都窪郡	新見市	県外	合計
人数	22	14	1	1	3	1	3	1	2	1	1	0	2	52

[追 記]

◎求人票の学生開示は10月初旬を予定しています。

◎学生が就職希望を申し出た医療機関には、本学院より見学、面接等の日程についてご相談をさせていただきます。

◎学生の面接に際して、次の事項をご配慮下さるようお願いいたします。

1. 学生が貴医院からご提出頂いた「求人票」のコピーを持参します。面接時、その内容について具体的にご説明下さい。
2. 貴医院の就業規則や労働条件（勤務時間等）を明記した印刷物を学生に提示して、具体的にご説明下さい。
3. 面接終了後、当該学生の採用の有無を早急に学院へご連絡下さい。

◎ 求人申込みを頂きましたが、そのご希望に添えかねることもありますので、予めご了承下さい。尚、この場合には3月中旬までにその旨をご連絡いたします。

◎「求人票」のご提出を頂き、求人の必要が無くなった場合はお早めにご連絡下さい。

平成23年度 御野小学校 衛生教育実習報告



臨地実習の一環として毎年行われている衛生教育実習が、6月16日(木)岡山市立御野小学校にて行われました。

衛生教育実習は、児童の発育段階および日常生活行動について理解し、口腔の管理を行うために必要な知識、技能および態度を学び、集団の場での正確な知識を伝達するために必要な技能と態度を身に付けるこ

とを目的に行われます。

当日は、御野小学校4年生(A組, B組, C組)の児童を対象に学院3年生が3グループに分かれ、う蝕や歯肉炎の病因、症状、その予防法などについて講話を行いました。児童が興味を持ち、より理解を深められるようにそれぞれのグループが工夫した媒体、リーフレットを使つてのクイズや劇に、子供達は目を輝かせ、時には歓声をあげながら食い入るように見入っていました。初めのうちこそ学生も児童も緊張した面持ちでしたが、実習終盤に行われたブラッシング指導の頃には、子供達は打ち解けた様子で楽しそうに指導を受けていました。

実習については「笑顔で子供達に接し、コミュニケーションの取り方も温かく、言葉もわかりやすい。媒体、リーフレットは子供の目線で理解しやすくポイントを押さえており、楽しく且つわかりやすい。準備の大変さがよくわかる」また、「時期的にも歯の衛生週間直後であり、講話はより効果的であった」と、小川 孝司校長を始め担任の先生方から高い評価をいただきました。



学生達は3ヶ月以上の時間をかけ、放課後遅くまで残って媒体やリーフレット作りに励み、何度もリハーサルを重ねて本番に臨みました。今回の実習は、学生達にとっては大きなプレッシャーであったようですが、対象者に正しい知識を伝える難しさ、やりがい、そしてチームワークの大切さなど、得るものも大きかったと思います。

なお、当日は学校歯科医 瀧 陽一郎先生にもご指導いただきました。

(教務担当講師 山口 威)

御野幼稚園における衛生教育実習報告

6月8日(水)御野幼稚園において、本学院3年生(52期生)が衛生教育実習を行いました。

本実習の目的は、3～5歳の園児の発育段階および日常生活行動について理解し、口腔の管理を行うために必要な知識、技能および態度を学ぶこと、また、集団の場での正確な知識を伝達するために必要な技能と態度を身に付けることです。



午前の実習では園児と学生は教室や園庭で色々な遊びを通してコミュニケーションをはかりました。

また、3月より準備を重ねてきた「がんばれ!!みんなの歯ブラシマン」の寸劇を園児と保護者に向けて行い、「むし歯」と「歯磨きをする理由」についてわかりやすく、楽しく説明しました。キャラクターの迫力ある登場に泣きだした3歳児もいましたが、園児全体から「がんばれ!!歯ブラシマン!!」と大声援をいっぱい受け、学生も大活躍でした。口腔内を清潔にすることは、おいしくご飯が食べられる、力いっぱい走ることができるなど全身の健康にもつながると、歯磨きの大切さを伝え、園児の口腔

衛生のモチベーションをあげるのに役立ったと思います。



後半は、4、5歳児と各教室で一緒にお弁当を食べた後、園児の口腔を染め出し歯磨き指導を行いました。降園見送りまで長時間にわたり園児とふれ合うことにより今回の実習の目的を達成したと思います。

御野幼稚園の青木博子園長を始め担任の先生方には多くのご指導、ご協力をいただき、非常に高い衛生教育実習評価もいただきました。また、御野幼稚園歯科医の塚本修司先生にもご参加そしてご指導をいただきました。ありがとうございました。有意義な衛生教育実習を終えることができました。

(教務担当講師 藤澤達郎)

新入会の正会員の先生を紹介する新コーナー

新人です…よろしくお願いします。

こし むね しんじろう
越 宗 紳二郎



赤磐支部

こしむねファミリー歯科医院

〒709-0831 赤磐市五日市107-1

TEL (086) 955-6480

FAX (086) 955-6480

生年月日 昭和45年10月7日(40歳)

出身大学 九州歯科大学

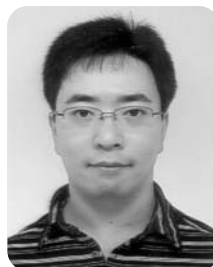
経歴・職歴 卒業後、九州歯科大学大学院歯学研究科博士課程、予防歯科学(現:保健医療フロンティア科学)専攻。その後、福岡県、宮崎県の開業医に勤務現在に至る

入会日 平成23年5月19日

趣味 バスケットボール, ジョギング, 音楽, お酒

抱負 県歯の会員として地域の皆様に愛される歯科医師を目指して頑張ります。

その だ しん すけ
園 田 伸 介



玉野支部

そのだ歯科医院

〒706-0021 玉野市和田3丁目28-7

TEL (0863) 81-6771

FAX (0863) 81-6772

生年月日 昭和53年1月20日(33歳)

出身大学 松本歯科大学

経歴・職歴 2004年卒業後~2005年3月 松本歯科大学研修医
2005年4月~2006年3月 同歯科大学補綴科
2006年5月 あさの歯科医院に勤務
2007年3月 中山下歯科医院に勤務
現在に至る。

入会日 平成23年6月1日

趣味 ドライブ

抱負 先輩方に負けぬよう努力します。

な ぎ た り つ こ
名木田 律 子



倉敷支部

名木田歯科医院

〒712-8058 倉敷市水島東常盤町4-7

TEL (086) 446-0570

FAX (086) 444-6536

生年月日 昭和46年1月20日(40歳)
出身大学 大阪歯科大学歯学部
経歴・職歴 平成7年3月卒業後、大阪歯科大学 歯科補綴学第3講座(現：欠損歯列補綴咬合学講座)に研修医として在籍。
平成10年1月より父の開設する名木田歯科医院に勤務
平成22年12月に父のあと名木田歯科医院を引き継ぐ
現在に至る
入会日 平成23年6月9日
趣味 美術鑑賞と水泳
抱負 今まで準会員として在籍していましたが、この度正会員となり、気持ちを新たに歯科医師として頑張っていきたいと思います。ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願いいたします。

お知らせ

日曜・祝日の開館予定日

○印 開館予定 ×印 閉館予定

8月	7日(日)	13日(土)~15日(月)		21日(日)	28日(日)	
	○	×		○	○	
	10:00~15:00	夏季休暇		10:00~15:00	10:00~15:00	
9月	4日(日)~5日(月)	11日(日)	18日(日)	19日(月・祝)	23日(金・祝)	25日(日)
	×	○	×	×	×	○
	職員クイズ	10:00~12:00				10:00~14:00

※行事等の都合により変更となる場合もあります。 ※詳細については事務局にお問合せ下さい。

津山市子ども医療費公費負担 制度拡大にかかるお知らせ

■ 平成23年7月1日から、津山市の子ども医療費公費負担制度の外来医療費分の補助年齢が拡大されることに伴い、窓口での一部負担があります。

- 1 外来医療分の医療費助成の対象が「就学前」から「小学1年生から3年生（満9歳に達する日以降の最初の3月31日まで）」に拡大されます。
- 2 小学1年生から3年生の外来医療費の本人負担分は、現行「3割」から「1割・月額限度額44,400円」となります。
- 3 健康保険証とともに当該受給者証を提示した小学1年生から3年生までの子どもの県内医療機関の窓口での自己負担は、外来医療費については「1割・月額限度額44,400円」になります。（入院医療費については従来どおり「無料」）ただし、「ひとり親家庭等医療費」又は「心身障害者医療費」の受給者証を既に持っている方は、それぞれの公費負担制度が優先になります。

■ 受給資格者証をご確認ください。

○対象者には、平成23年7月1日から下記の「子ども医療費受給者証」（黄色）が交付されます。

（1年生から3年生の受給者証）

【黄色】

受診の際は必ず保険証に添えて提出してください。
この資格者証が使えるのは、岡山県内の医療機関だけです。

岡 山 県									
子ども医療費受給資格者証									
公費負担者番号		8 5 3 3 0 0 3 3							
受給資格者番号									
受給資格者	住 所								
	氏 名								
	生年月日		平成 年 月 日生						
一割負担率		外 来		1割		入 院		無料	
月額上限額		外 来		44,400円		入 院		無料	
有効期間		平成23年 7月 1日から 平成 年 月 日まで							
上記の者の受診にかかる医療保険の自己負担分から、上記の一部負担金を控除した額を、公費で負担します。									
（市町村長名印） 岡山県 津山市長 									
保険医療機関・保険薬局の方へ この資格者証により診療を求められたときは、上記の一部負担金を受領し、この一部負担金を控除した額を公費併用扱いとして、レセプトにより、審査支払機関へ請求してください。									

「ひとり親家庭等医療費」「心身障害者医療費」
の受給者証をお持ちの方（入院のみ）

受診の際は必ず保険証に添えて提出してください。
この資格者証が使えるのは、岡山県内の医療機関だけです。

岡 山 県									
子ども医療費受給資格者証									
公費負担者番号		8 5 3 3 0 0 3 3							
受給資格者番号									
受給資格者	住 所								
	氏 名								
	生年月日		平成 年 月 日生						
一部負担金の割合		無 料							
有効期間		平成23年 7月 1日から 平成 年 月 日まで（入院診療のみ）							
上記の者の受診にかかる医療保険の自己負担分については、公費で負担します。 ※この資格者証は入院のみ使用できます									
平成23年 7月 1日 （市町村長名印） 岡山県 津山市長 									
保険医療機関・保険薬局の方へ この資格者証により診療を求められたときは、公費併用扱いとして、レセプトにより、審査支払機関へ請求してください。 また、その場合、レセプトの「負担金額」欄には「0円」と記入してください。									

お問い合わせ先：岡山県健康推進課 母子・歯科保健班（TEL:086-226-7329）

平成23年7月からの小児医療費公費負担制度の市町村状況一覧

(H23.7.1現在)

市町村名	助成対象年齢					備考
	就学前まで	小学3年まで	小学6年まで	中学3年まで	18歳まで	
岡山市			入院用			
倉敷市						
津山市			入院用			※小学生の通院医療費は、「1割・月額」の限度額44,400円の一部負担あり
玉野市						
笠岡市			入院用			
井原市						
総社市						
高梁市						満18歳に達した以後の最初の3月31日まで(婚姻している者、社会保険本人は除く)
新見市						
備前市			入院用			※小学生以上の通院は窓口償還あり
瀬戸内市			入院用			※小学生の通院、中学1～3年までは窓口償還あり
赤磐市						
真庭市						
美作市						
浅口市						
和気町						
早島町			入院用			
里庄町						
矢掛町						
新庄村						
鏡野町						
勝央町						
奈義町						
西栗倉村			入院用			※小学生の通院、中学1～3年までは窓口償還あり
久米南町						
美咲町						
吉備中央町						

■ 入通院とも全額公費負担
(入通院とも通常の受給資格者証で受診)

■ 入院用 入院のみ全額公費負担
通院は助成対象外
(入院のみ「入院用」受給資格者証で受診)

※所得制限は7月現在、全市町村でなし

※上記は、小児医療費受給資格者証(85)を発行している対象者をまとめたものであり、上記の対象外年齢であっても、保護者が市町村窓口で申請を行うことにより、償還給付される場合があります(備考欄)。

市町村状況一覧は、岡山県ホームページにて、随時更新していきます。
http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif_id=53881

平成23年度 日本補綴歯科学会 中国・四国支部学術大会のお知らせ

今回の学術大会では、一般歯科での施術も増えてきたインプラントをテーマに市民フォーラムと生涯学習公開セミナーを下記の日程で行います。

市民フォーラムでは、従来の義歯とインプラント治療とは何が違うのか？また、インプラント補綴のバリエーションとしてインプラントオーバーデンチャーを提示することによって、インプラント治療について市民の皆様詳しく知っていただくことを目的としました。

生涯学習公開セミナーでは、現在色々な考え方のあるインプラント上部構造の咬合の与え方について、歯科医療従事者向け講演を行います。

学術大会一般口演、専門医ケースプレゼンテーション、ポスター発表や企業の展示も行われます。

先生方のお知りになりたい情報がきっとあると思います。県歯会員の方はすべて無料で参加できますので、ぜひともご参加ください。

記

会 場：〒700-8530 岡山市北区津島中1丁目1番1号

岡山大学津島キャンパス内 五十周年記念館 TEL：086-251-7057（FAX兼用）

主 管：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科咬合・有床義歯補綴学分野

市民フォーラム 9月3日(土) 14：30～16：30

「歯が抜けた。あなたならどうする！入れ歯？インプラント？インプラントオーバーデンチャー？」

司会 河野文昭 教授（徳島大学）

講師 皆木省吾 教授（岡山大学） ～入れ歯～

赤川安正 教授（広島大学） ～インプラント～

前田芳信 教授（大阪大学） ～インプラントオーバーデンチャー～

学術大会一般口演 9月4日(日) 9：30～12：00

生涯学習公開セミナー 9月4日(日) 13：30～15：30

「インプラントに与える咬合様式」

座長 二川浩樹 教授（広島大学）

講師 窪木拓男 教授（岡山大学）

市川哲雄 教授（徳島大学）

企業展示 9月4日(日) 9：00～15：30

連絡先： なかしま歯科医院 中島 啓一郎（大会長，瀬戸内市） 電話 0869-24-1212

第39回産業医学講習会実施要領

1. 目的 最近における職域の健康管理の問題は、非常に広範かつ多様化の様相を呈しており、そのため産業保健活動は地域医療活動の中核として益々重要なものとなってきた。これに対応し、産業医学の新知見の修得と産業衛生の普及・向上を図ることを目的に実施する。
2. 主催 日本歯科医師会
3. 協賛 (予定) 厚生労働省
4. 後援 (予定) 中央労働災害防止協会、産業医学振興財団、日本産業衛生学会
5. 期 日 平成23年9月29日(木)～10月1日(土)
6. 場 所 日本歯科医師会会議室(東京都千代田区九段北4-1-20)
7. 対 象 歯科医師(この講習会を初めて受講するものに限るが、会場・申込み数に余裕のある場合は再受講者であってもよい)
8. 受講料 日本歯科医師会会員無料
日本歯科医師会未入会者は5,000円とする。
(受講料は事前に日本歯科医師会の指定口座に振り込むものとし、受講手続き完了後は受講を辞退されても受講料は返金しない。振込手数料は申込者負担とする)
振込先銀行口座：三菱東京UFJ銀行市ヶ谷支店
普通預金 0050119 (社)日本歯科医師会
9. 申込方法 日本歯科医師会会員である受講希望者は、9月2日(金)までに、所定の用紙により日本歯科医師会・地域保健課(〒102-0073 千代田区九段北4-1-20, TEL 03-3262-9211, FAX 03-3262-9885, Eメール: chisanpo-nisshi@jda.or.jp)に直接申込み下さい。
未入会の受講希望者は、8月26日(金)までに、所定の用紙により日本歯科医師会地域保健課に歯科医師免許証の写しを添えて申し込み下さい。
受付後、本会より受講票を送付いたしますので、講習会当日に必ず持参下さい。
*所定の申込用紙は岡山県歯科医師会事務局へお問い合わせ下さい。
10. 修了証 3日間受講した方には、講習会終了後に修了証が交付され、労働衛生コンサルタント第1次試験(筆記)全部免除の資格が得られます。
11. その他 ①当日は筆記用具をご用意の上、ご来場下さい。
②労働衛生コンサルタント試験受験予定者のために別途参考資料をセット販売いたします。
ご希望の方は30,000円(予定)を当日ご用意下さい。また、各種関係書籍も別途販売予定です。

第39回産業医学講習会 日程

	時 間	内 容	講 師
9月29日 (木)	9:20	[オリエンテーション] [開会行事]	野村圭介 (日本歯科医師会地域保健委員会委員)
	9:25	日本歯科医師会挨拶 厚生労働省挨拶	榎本 滋 (日本歯科医師会理事) 厚生労働省担当官
	9:40	1. 最近の労働安全衛生行政の 動向について	厚生労働省担当官
		—休憩 (昼食)—	
	13:00	2. 労働基準法施行規則第35条の解説	厚生労働省担当官
	14:10	3. 産業医学総論	高田 昂 (独立行政法人労働者健康福祉機構医監)
9月30日 (金)	15:40	4. 疫学概論	櫻井治彦 (中災防労働衛生調査分析センター技術顧問)
	9:50	5. VDT・騒音・腰痛の健康管理対策	城内 博 (日本大学大学院理工学研究科教授)
	11:00	6. 職場のストレスとメンタルヘルス対策	島津明人 (東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野准教授)
		—休憩 (昼食)—	
	13:00	7. 健康管理・健康教育の方法	圓藤吟史 (大阪市立大学大学院教授)
	14:30	8. 健康診断と事後措置	和田 攻 (産業医科大学名誉教授)
10月1日 (土)	15:40	9. 作業管理の方法	東 敏昭 (産業医科大学名誉教授)
	9:30	10. 粉じん障害対策	相澤好治 (北里大学副学長)
	10:40	11. 職場における化学物質対策	清水英佑 (中災防労働衛生調査分析センター所長)
		—休憩 (昼食)—	
	13:00	12. 快適職場形成促進対策	三澤哲夫 (千葉工業大学工学部デザイン科学科教授)
	14:10	13. 作業環境管理の方法	田中勇武 (産業医科大学名誉教授)
	15:50	14. 職場における口腔保健管理	柿木保明 (九州歯科大学口腔保健学科・摂食嚥下 支援学講座教授)
	16:50	[閉 会]	

会 員 異 動

6 月末日現在 正会員数 1,043 名

◎診療所の異動

小林 敏康 正会員 P13 岡山支部
 [新] (診) 岡山市北区中山下 1 丁目 10-10
 新田ビル 4 階

大前 博恵 正会員 P26 津山支部
 [新] (診) 津山市中北下 1269-9
 FAX (0868) 57-2121

◎番号の変更

吉原 史郎 正会員 P43 都窪支部
 [新] (診) FAX (086) 482-1847

中嶋 義昭 正会員 P49 和気支部
 [新] (診) TEL (0869) 62-1000

◎診療所名の変更

櫻井 哲雅 正会員 P27 津山支部
 [新] 櫻井歯科クリニック

蔵内 眞 正会員 P31 倉敷支部
 [新] くらうち歯科医院

◎住所の変更

笠岡市歯科医師会 (笠岡歯科技工専門学校) P54
 [新] 笠岡市笠岡 5628-22

(P = 会員名簿のページ)

8月の収納金

1. 本 会

(1) 診療報酬割会費 (社保, 国保 5 月診療の窓口分を含む総診療費の $\frac{2.8}{1000}$ を控除)

2. 全国歯科医師国保組合

(1) 収入割, 均等割保険料調定額

(2) 収入割保険料 (平成 22 年支払いの窓口分を含む総診療費の $\frac{6.5}{1000} \times \frac{1}{12}$)

3. 日本歯科医師会

(1) 年金拠出金 (9 月分)

(2) 福祉共済負担金 (9 月分)

6月 会の動き

1 日 編集委員会

医療従事者派遣歯科医師打合せ

日学歯 第 1 回学術委員会

2 日 広報部移動委員会

第 168 回日歯臨時代議員会

被災地に向けて元気を送る会

3 日 身元確認派遣歯科医師報告会

広報部取材

4 日 社保 審査・検討小委員会

社保 検討委員会

本会学院 見学会 5日 第35回「歯の健康フェア」(倉敷) 歯の衛生週間啓発事業・募金活動(岡山・倉敷) 6日 医療従事者派遣歯科医師打合会 7日 学術部正・副委員長会 国保組合 監事会 8日 平成23年度歯科医療安全管理体制推進特別事業打合会 医療従事者派遣歯科医師打合会 社保小委員会 日学歯 制度改革委員会 本会学院 衛生教育実習(御野幼稚園) 9日 理事会 編集委員会 岡山県教育庁と面会 岡山県 歯科保健計画策定作業部会第1回作業部会 11日 日本歯科医療管理学会中国支部第1回役員会(山口) 岡山県 歯科衛生士会第11回理事会 12日 医療従事者派遣(宮城県 ～19日) 13日 広報・会館合同委員会 支払基金幹事会 15日 医療管理部正・副委員長会 社保小委員会 日学歯 常務理事会 16日 理事会 編集委員会 日本老年歯科医学会(～17日 東京) 本会学院 衛生教育実習(御野小学校) 17日 学術部小委員 18日 はぐくみ岡山 おぎゃっと21(～19日) 平成23年度中国・四国地区歯科医師会連合会	役員連絡協議会 20日 本会学院 教務会議 21日 保険会社と打合せ 日学歯 理事会 22日 編集委員会 医療管理部小委員会 岡山大学宮脇教授と打合せ 日本学校歯科医会第79回総会 日学歯 創立40周年記念式典 23日 理事会 社保小委員会 保険会社と面会 日学歯 歯・口の健康づくり調査研究事業説明会 平成23年度生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業連絡協議会 明海大学学長並びに同窓会長と面会 24日 身元確認派遣歯科医師報告会打合せ NPO救命おかやま2011記念講演会 25日 第22回日本スポーツ歯科医学学術大会・総会(～26日) 27日 公衆衛生部小委員会 28日 総務部調査事業部会 岡山県健康づくり財団理事会 29日 医療管理部正・副委員長会 8020推進財団評議員会 岡山県要保護児童対策地域協議会 国保組合 本部理事会 30日 理事会 中国地区口腔公衆衛生協議会打合会 福原公認会計士と面会 平成23年6月保険医療関係機関連絡会議 岡山県学校保健会第2回理事会並びに表彰審査会
--	--

8 月・9 月 本会の予定

8 月 1 日 編集委員会	予算決算特別委員会
3 日 本会学院 第 1 回一日体験入学	28 日 歯科助手資格認定講習会(5)
4 日 理事会 岡山県学校保健研究大会	30 日 厚生部共済事業部会監査委員会 厚生部共済事業部会委員会
5 日 本会学院 第 1 回学院運営協議会	
6 日 本会学院 中国地区歯科衛生士養成機 関連絡会議	9 月 1 日 理事会 編集委員会
7 日 歯科助手資格認定講習会(3)	8 日 理事会 編集委員会
11 日 理事会 編集委員会	11 日 歯科助手資格認定講習会 (閉講式)
17 日 医療管理部正・副委員長会	15 日 理事会 編集委員会
18 日 理事会 編集委員会	21 日 編集委員会 医療管理部正・副委員長会
21 日 歯科助手資格認定講習会(4)	22 日 理事会
24 日 編集委員会	25 日 第160回定時代議員会 第127回定時総会
25 日 第13回中規模県歯科医師会連合会	
26 日 第112回都道府県会長会議	
27 日 監事会	

8 月・9 月 支部の予定

8 月 4 日 津山支部定例会	9 月 7 日 瀬戸内支部支部会
5 日 児島支部理事会	8 日 玉島支部役員会
9 日 新見支部理事会	9 日 岡山支部第10回理事会
10 日 岡山支部班長会 瀬戸内支部支部会 和気支部社保講習会	13 日 新見支部理事会 14 日 真庭支部支部会 15 日 都窪支部定例会 勝・英支部定例会
16 日 小田支部勉強会	16 日 岡山支部第11回理事会
17 日 御津支部社保・学術講習会	17 日 岡山支部第 2 回定時代議員会・第104 回定時総会
19 日 岡山支部第 9 回理事会	20 日 小田支部勉強会
22 日 倉敷支部社保講習会	21 日 倉敷支部理事会 吉備支部理事会
24 日 津山支部理事会	28 日 倉敷支部定時総会
25 日 浅口支部社保講習会 赤磐支部社保講習会	29 日 倉敷歯科医師会定時総会 新見支部集団健診 (生活習慣病・特定 健診)
26 日 倉敷支部理事会	
27 日 井原支部社保講習会	
28 日 倉敷支部ボウリング大会	

※
こちら編集室
※

黒瀬 「ソニーのDNA」

哲也 ソニー会長ハワード・ストリンガー氏の10年度の報酬が8億6,300万円と発表された。日産自動車会長のカルロス・ゴーン氏の9億8,200万円には及ばなかったものの、3年連続赤字、サイバー攻撃による個人情報流出事件以降の株価低迷にもかかわらず、5,650万円のアップである。どういう人物か調べてみると、ウェールズ出身、オックスフォード大学で近代史学を専攻し、文学修士の学位を取得。ベトナム帰還兵。ジャーナリスト、ディレクター、プロデューサーとして活躍し、エミー賞を9回受賞。実業家としては少し異色の経歴である。

しかし、これまでもソニーのトップはユニークな人物によって引き継がれてきた。先だって4月に亡くなった元社長・会長の大賀典雄氏なども東京芸大で声楽を学び、ベルリン国立芸術大学を卒業。ソニーの前身の東京通信工業にテープレコーダーの音質についてクレームをつけ、それがきっかけで同社の嘱託となった。東京フィルハーモニー交響楽団をしばしば自ら指揮し、退職慰労金を全部つぎ込んで音楽ホール“軽井沢大賀ホール”を建設した。ヘルベルト・フォン・カラヤンは大賀氏と面会中に心不全を起こし、彼の腕の中で亡くなったが、大賀氏もカラヤンと同じ81歳3ヶ月で亡くなった。

また元社長・会長の盛田昭夫氏も、技術者ではあったが長男として家業の造り酒屋を継ぐべきところを創業者の一人となった。超一流の技術者であると同時に国際的営業能力に秀でた世界的経済人として、ある意味まっとうなのだが出色の存在ではあった。数々の国際会議で活躍し、石原慎太郎氏と共著でベストセラーとなった『「No」と言える日本』を出版するなど、その発言・著書は常にメディアで注目された。

同じく創業者の井深大氏も逸話に事欠かない。なにせ晩年にはエスパー研究所を社内に設立し、超能力や幼児教育の研究を行った（もっとも井深氏の死去の翌年に閉鎖）。最晩年には、あるヨーガ行者の『空中浮揚』の本を愛読。なぜ空中浮揚を身につけたかったかという点、「重役会議の場に、空中浮揚でヒューッと行ったら面白いから」という理由だったらしい。面白いと思えば子供のように単純に飛びつき、しかもこの常人離れした柔軟な発想力。これこそ、彼を世界のソニーの創業者たらしめた決定的資質だったのだろう。

先のストリンガー氏は、「革新の精神」をソニーのDNAと呼んでいる。彼も歴代のトップの精神に連なる存在として自らを認識していることは間違いなさそうである。彼が革新性によりその報酬にふさわしい経営実績を上げられるかどうかはわからないが、トップとしての異色さという点ではとりあえずソニーのDNAを受け継いでいる人物といえるのかもしれない。



日本政策金融公庫

国民生活事業

歯科診療所を営むみなさまへ

《特別貸付のご案内》

- 日本政策金融公庫 国民生活事業は、全額政府出資の政府系金融機関です。
- これまでに数多くの歯科診療所を営むみなさまの資金調達をお手伝いさせていただいております。
- 是非、この機会にご相談ください！

キーワードは「情報化」！

【デジタルレントゲン】や【ディスプレイ付診療ユニット】の導入・更新など情報化の促進を図るための設備投資に幅広くご利用いただけます！

IT資金

利 率 (年 利)	<特別利率C> 1. 2.5%～3.10% <基準利率> 2. 1.5%～4.00%
お使いみち	設備資金及び付随する運転資金
ご融資額	7,200万円以内 (うち運転資金4,800万円以内)
ご返済期間	設備資金：15年以内 運転資金：5年以内 (特に必要な場合は7年以内)

キーワードは「合理化」！

【診療所の増改築】や【最新医療設備導入】による生産性の向上など経営の合理化を図るための設備投資に幅広くご利用いただけます！

企業活力強化資金

利 率 (年 利)	<特別利率C> 1. 2.5%～3.10% <基準利率> 2. 1.5%～4.00%
お使いみち	設備資金及び付随する運転資金
ご融資額	7,200万円以内 (うち運転資金4,800万円以内)
ご返済期間	設備資金：20年以内 運転資金：5年以内 (特に必要な場合は7年以内)

キーワードは「中小企業の会計に関する指針」！

「中小企業の会計に関する指針」を適用されている方又は当期決算から適用予定の方は、記載の利率から0.2%引下げとなります（法人企業に限る。）。

IT資金・企業活力強化資金
での適用利率は？



特別利率C 年利 1.05%～2.90%
基準利率 年利 1.95%～3.80%

- ※ 利率は平成23年6月9日現在のものです。
- ※ 利率は金融情勢によって変動いたしますので、お借入れ時の利率は、記載されている利率とは異なる場合があります。
- ※ お使いみち、ご返済期間、担保・保証人の有無によって異なる利率が適用されます。くわしくは支店の窓口までお問い合わせください。
- ※ ご相談の結果、お客さまのご希望に沿えないことがあります。

《お問い合わせ先》 最寄りの支店（国民生活事業）にお問い合わせください。

岡山支店	〒700-0825	岡山市北区田町1丁目11番13号	086-225-0011
津山支店	〒708-0022	津山市山下18番地の1	0868-22-6135
倉敷支店	〒710-0055	倉敷市阿知2丁目9番10号	086-425-8401
福山支店	〒720-0814	福山市光南町2丁目2番7号	084-922-6550



やがて： 医師

医師の家系を引き継ぐ
次代の力を育みます。

学校説明会開催

平成24年度入試説明会を下記の日程で
開催致します。ご確認の上ご参加ください。

地区	日程	会場
福岡	9月 7日(水)	博多都ホテル 3F(桂の間) ●福岡市博多区博多駅東2-1-1 ☎ (092) 441-3111
大阪	9月 8日(木)	大阪新阪急ホテル 2F(雪の間) ●大阪市北区芝田1-1-35 ☎ (06) 6372-5101
新潟	9月14日(水)	ANAクラウンプラザホテル新潟 4F(松の間) ●新潟市中央区万代5-11-20 ☎ (025) 245-3334
東京	9月15日(木)	八重洲富士屋ホテル 3F(紅葉の間) ●東京都中央区八重洲2-9-1 ☎ (03) 3273-2111
名古屋	9月22日(木)	名古屋マリオットアソシアホテル 17F(桂の間) ●名古屋市中村区名駅1-1-4 ☎ (052) 584-1111
札幌	9月29日(木)	札幌グランドホテル 東館 3F(雪の間) ●札幌市中央区北1条西4丁目 ☎ (011) 261-3311

開催時間：①10:00～12:00/②13:00～15:00(全会場共通)

ご説明は個別にさせていただきます。
ご都合の良い時間に随時お越しください。

学校見学
随時受付中

土・日
祝日も可

ご希望の方は、電話・FAX・ハガキ・Eメールなどで
昭英高等学校入試事務局までご連絡ください。

転・編入学随時受付中

昭英

検索



昭英高等学校

男女共学
全寮制

資料請求
お問い合わせ先

914-0198 福井県敦賀市長谷65-98
昭英高等学校入試事務局入試係

TEL 0770-23-7221(代表) 0770-21-2040(直通) FAX 0770-25-8383
URL <http://www.shoei-hs.ac.jp/> Mail info@shoei-hs.ac.jp

ASAHI UNIVERSITY
SCHOOL of DENTISTRY

歯学部

OPEN CAMPUS



歯学部へ一日体験入学

7.28〔木〕・8.25〔木〕

〔開催内容〕

大学紹介、入試概要説明、模擬講義、
実習体験、ランチバイキング、個別相談など

開催時間

10:00～15:00
〔受付開始 9:00〕

9.24〔土〕

〔開催内容〕

大学紹介、AO入試直前対策講座、入試概要説明、
歯科医療の現状と未来、ランチ体験など

開催時間

10:00～13:00
〔受付開始 9:00〕

参加申込、開催内容の詳細は、お気軽にお問い合わせください。

2011年度から学費を改定
(大幅減額)いたしました。

朝日大学 学費減額 検索

Experience

朝日大学
<http://www.asahi-u.ac.jp/>

0120-058-327 入試広報室
〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積1851



タマ牛は診療現場における最新の商品や
情報のご提供を通して歯科医療のご発展に貢献いたします。

お客様のご満足をタマ牛の最大の願いです。

株式会社玉井歯科商店

松山店 〒790-0011 松山市千舟町 8-67-8
TEL 089(941)1619 FAX 089(921)4344
高松店 〒760-0073 高松市栗林町 3-4-1
TEL 087(831)4491 FAX 087(833)9222
徳島店 〒770-0006 徳島市北矢三町 2-2-8
TEL 088(633)6250 FAX 088(633)6307
下関店 〒751-0875 下関市秋根本町 1-5-33
TEL 083(256)0330 FAX 083(256)0880
徳山店 〒745-0071 周南市岐山通 2-21
TEL 0834(21)0400 FAX 0834(32)4346
広島店 〒734-0014 広島市南区宇品西 3-1-14
TEL 082(251)1911 FAX 082(251)1922

福山店 〒720-0805 福山市御門町 2-4-37
TEL 084(923)5867 FAX 084(923)5874
岡山店 〒700-0925 岡山市北区大元上町 12-19
TEL 086(244)3429 FAX 086(244)3489
松江店 〒690-0044 松江市浜乃木 2-4-27
TEL 0852(27)1916 FAX 0852(27)1972
米子駐在所 〒683-0805 米子市西福原 9-18-24
TEL 0859(23)3108 FAX 0859(23)3109

<http://www.tamadent.com>

損害保険・生命保険の総合コンサルタント



ONE Step

所得補償保険・自動車保険・火災保険
生命保険等 先生方一人一人にあった
アドバイス・提案をさせていただきます。

損害保険主力商品（引受保険会社：損保ジャパン）

- ・岡山県歯科医師会団体所得補償保険（団体割引30%）
- ・岡山県歯科医師会 新・団体医療保険〈がん補償プラン・入院補償プラン〉（団体割引30%）
- ・個人用自動車総合保険（ONE-Step）・火災保険・傷害保険・その他損害保険全般

*自動車保険・火災保険につきましては、岡山県歯科医師会へ登録の口座から引き去りの
集団扱制度をご利用いただけます。

（その場合は、集団扱一括払による割引により保険料が通常より5%割引になります。）

（集団扱契約としてご契約いただけるのは、保険契約者および被保険者が損保ジャパンの条件を満たす場合のみとなります。
詳細については取扱代理店または損保ジャパンにお問い合わせください）

THANK YOU



©JAPAN-DA

生命保険主力商品（損保ジャパンひまわり生命保険(株)）

- 医療保険『健康のお守り』（医療保険(08)B型）
・先進医療特約、がん診断給付特約、がん外来治療給付特約などを付帯可能
- がん保険『勇気のお守り』（がん保険(2010)BⅡ型）

このご案内は概要です。損害保険・生命保険ともに詳細については、ご連絡くださいましたら説明させていただきます。

〈取扱代理店〉株式会社ジャパン保険 岡山

大正6年創業 代表取締役社長 木口昌則 代表取締役会長 江見昌造

〒700-0913 岡山市北区大供1-2-10 損保ジャパン岡山ビル 5階

TEL 086-231-2840(代表) FAX 086-231-2890

URL <http://www.sompojapan-ag.com/a/y-oag/> E-MAIL office@y-oag.com

引受保険会社 株式会社損害保険ジャパン 他

(SJ 11-03191, 2011.07.01)

医療後継者育成は全寮制の秀明学園で

知・技・心の調和のとれたエリートを育て33年…
秀明教育が医療の世界で高く評価されています。

■ 秀明学園の特色 ■

- 月曜登校、金曜帰宅……4泊5日の全寮制
- ムリ、ムダ、ムラのない……中・高一貫教育
- 英国留学2回で……国際人の育成
- 父母と学校の「共育」で……子供の夢を実現

医歯学部主要合格大学

医学部				歯学部			
大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
東京大学 理科Ⅲ類	3	慶應義塾大学	3	北海道大学	2	昭和大学	54
北海道大学	2	防衛医科大学校	8	九州大学	2	愛知学院大学	12
東北大学	4	自治医科大学	2	東京医科歯科大学	5	大阪歯科大学	17
名古屋大学	2	産業医科大学	2	新潟大学	2	北海道医療大学	39
大阪大学	1	日本医科大学	32	岡山大学	1	岩手医科大学	30
九州大学	1	東京慈恵会医科大学	19	広島大学	2	奥羽大学	102
東京医科歯科大学	1	順天堂大学	47	九州歯科大学	3	明海大学	129
千葉大学	6	昭和大学	54	長崎大学	2	神奈川歯科大学	70
筑波大学	1	日本大学	65	鹿児島大学	2	鶴見大学	79
群馬大学	3	東京医科大学	50	東京歯科大学	60	松本歯科大学	78
新潟大学	6	東邦大学	71	日本大学・歯、松戸歯	120	朝日大学	32
山梨大学	7	東京女子医科大学	7	日本歯科大学・生命歯、新潟歯	169	福岡歯科大学	2

上記以外、国公立18大学52名 私立17大学818名

※数字は1982年～2011年度の延べ人数 ※順不同

地区別学校説明会

開催日	会場		時間
9月10日(土)	名古屋	ホテルサンルートプラザ名古屋	13:00 ～ 15:00
9月17日(土)	御茶ノ水	秀明学園東京本部	

学校見学会

開催日	会場	時間
10月16日(日)	本校	13:00～15:00
10月30日(日)		
11月13日(日)		

文化発表会

開催日	会場	時間
10月8日(土)	本校	9:00～15:00
10月9日(日)		

説明会・見学会参加、資料ご希望の方は、電話・ホームページで

学校法人 秀明学園

進学相談・学校見学随時受付中

秀明中学校

(併設 秀明高等学校)

〒350-1175 埼玉県川越市笠幡4792 ☎049-232-3311(入試室直通) FAX.049-232-6614

秀明学園

検索

平成23年8月1日発行（毎月1日発行）
昭和42年4月3日 第二種郵便物認可

岡歯会報

8月号

通巻第七七五号

定価一〇〇円

編集人 中村 慶男

発行人 酒井 昭則

発行所

岡山市北区石関町一―五（購読料は年会費に含まれる）
岡山県歯科医師会

